

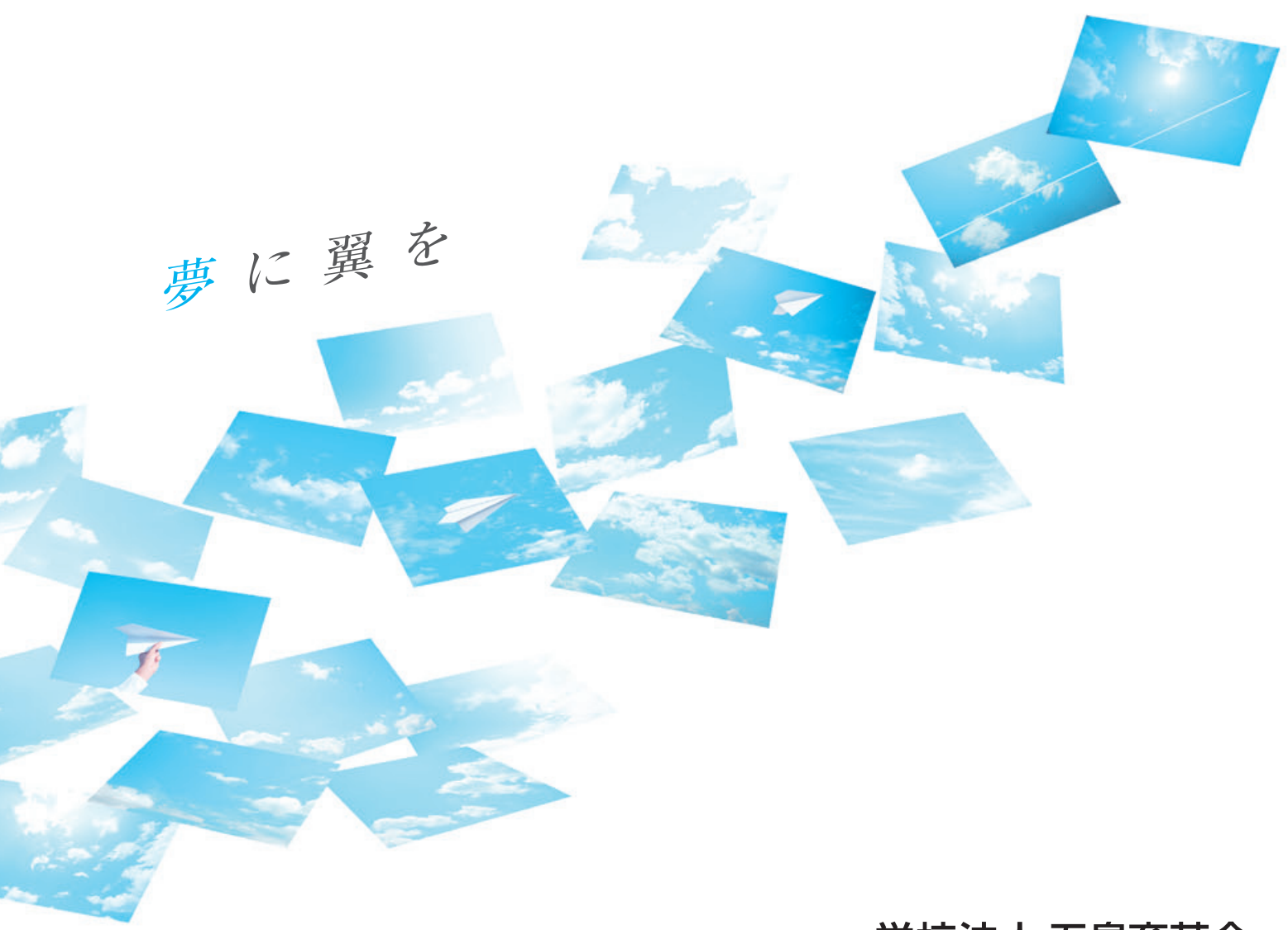


ANNUAL REPORT

事業報告書

2013

夢に翼を



「都市」で学ぶ。
「人」を育てる。
「未来」を築く。
—都市大グループ



東京都市大学

TOKYO CITY UNIVERSITY

世田谷キャンパス(工学部/知識工学部)

横浜キャンパス(環境学部/メディア情報学部)

等々力キャンパス(都市生活学部/人間科学部)

東京都市大学 附属中学校・高等学校

東京都市大学 等々力中学校・高等学校

東京都市大学 塩尻高等学校

東京都市大学 附属小学校

東京都市大学 二子幼稚園

東急自動車学校

発行にあたって

学校法人五島育英会は、1955年に、東急グループの創設者である五島慶太を初代理事長として設立した学校法人です。現在では大学1校、高等学校3校、中学校2校、小学校1校、幼稚園1園および自動車学校1校を設置しています。2009年4月、大学から幼稚園までを「東京都市大学(都市大)」の名のもとに校名を統一し、「東京都市大学グループ(都市大グループ)」として新たなスタートを切り、現在では院生から園児まで約1万2千人を擁する総合学園へと進化しています。

本法人では、すべてのステークホルダーの皆様に様々な取り組みや各学校の現況などをお伝えすることが責務であると考え、「事業報告書」を発行しております。本報告書をご一読いただき、学校法人五島育英会と設置するすべての学校について理解と信頼を深めていただきますよう、よろしくお願いたします。

東京都市大学グループのシンボルマーク・ロゴタイプについて



東京都市大学グループの誕生に伴い、共通したシンボルマークとロゴタイプを定めました。
シンボルマーク…略称「都市大」の「都」の「T」を図案化したものです。サステナブルな明るい未来を見通す「窓」でもあり、そうした社会を実現するための「知恵のフキダシ」の象形でもあります。マークの色調(アイデンティティカラー「TCUブルー」)は、知性とサステナブルな明るい未来を意味しています。
ロゴタイプ…シンプルでカーブの効いたゴシックのタイプフェイスは、時代に柔軟で、若々しさのある学校であることを表現しています。

東京都市大学グループ学園歌 五島育英会のウェブサイトにて試聴いただけます ● http://www.goto-ikuei.ac.jp/10hojin/song_of_tcu_group.html

夢に翼を

作詞・作曲 岩代浩一
編曲 岩代太郎

- | | | |
|--|--|---|
| 1.
まなびの
学園の道 陽を浴びて
精気さやかな 都市に起つ
未来を目ざす 心意気
不滅の精神を学ぶなり
香る個性の煌きに
明日の英知を磨き合う
両手に燃える青春の
夢に翼を 夢に翼を | 2.
まなびの
学園の大地に 風わたり
天空蒼々と 冴えるとき
あうん いおき とも
阿吽の息吹 朋友の声
讃歌たからかに ひびくなり
若き生命の羽ばたきに
明日の希望を語り合う
力あふれる青春の
夢に翼を 夢に翼を | 3.
まなびの
学園の森に 集い来て
梢すどく 指す木立
遙かに仰ぐ 大宙の
北斗に真理の光あり
古き伝統の温もりを
明日に生かして励み合う
血潮みなぎる青春の
夢に翼を 夢に翼を |
|--|--|---|

作詞・作曲 岩代浩一先生からのメッセージ

たとえ老人になっても、夢に生きている人は新鮮に輝いています。本当の「老(おい)」は夢が失くなってしまった時と言えましょう。憶えば子供の頃は、些細なことでも新鮮な出来事に出会うと、ドキッと反応して感動したものでした。だから、「子供ころ」は何時も夢でイッパイでした。少年期から青春時代にかけての夢になると、将来への希望が多くなってきます。「夢多き時代」には若い命が逞し

く息吹き、夢を見るほどに血潮が滾ってきます。しかし夢は必ずしも実現するとは限りません。いや、むしろ叶わぬ夢の方がずっと多いでしょう。夢を実現する為には、ただ憧れているだけでなく、強い翼を育てることが肝要です。夢の翼は、個性であり、創造への英知であり、ロマンへの情熱であり、未来へ飛翔する不滅の力(真の勇気)です。本当の夢は目を覚ましてみるもの。夢に翼を!

目次

- 03 …… 理事長メッセージ
- 05 …… 東京都市大学グループの理念と目標
- 06 …… 東京都市大学アクションプラン2030

- 07 …… ハイライト(教育・研究、グローバル、部活動、グループ間連携、地域貢献)
- 13 …… 設置校の概要(都市大、附属中学校・高等学校、等々力中学校・高等学校、塩尻高等学校、附属小学校、二子幼稚園)
- 21 …… 財務、財務概要、5年間の財務データ(推移)、財産目録

- 27 …… 教育関連データ
- 29 …… 東京都市大学および大学院の業種別就職状況(2013年度卒業生)
- 31 …… 2014年度の事業計画、各種奨学制度

- 33 …… 組織図、役員・評議員一覧
- 35 …… 学校法人五島育英会の概要
- 37 …… 事業活動



中長期的ビジョンの実現を通して “未来へ挑戦する”東京都市大学グループ

学校法人五島育英会 理事長

安達功

東京都市大学および附属各校の 種々実績は良好に推移

2013年度事業報告書の発行にあたり、学校法人五島育英会を代表してご挨拶申し上げます。

2009年度に東京都市大学グループとして新たにスタートし、2013年度で5年目という節目の年を迎えました。若年人口の減少、就職難など、学校を取りまく環境は、ますます厳しい状況にありますが、グループ各校における入試、就職、進学などの実績は良好に推移いたしております。

東京都市大学では、2013年9月に学長交代があり9年間学長を務められた中村英夫氏から、北澤宏一氏に引継がれました。北澤学長には

その豊富な経験と識見、先見力、行動力を遺憾なく発揮され、中長期計画「東京都市大学アクションプラン2030」の実現に向け、全学を牽引されることを期待しています。

この「アクションプラン2030」は、5年後の創立90周年、15年後の100周年を視野に入れて、東京都市大学のあるべき姿を描いた未来図です。「教育の質保証」、「キャンパス教育環境向上」、「ブランド力向上」、「大学運営向上」の4プロジェクトを設定、「国際都市東京で存在感を示す有数の私大」というビジョン達成に向け、一丸となって邁進してまいります。

附属各校においては、附属中学校・高等学校および等々力中学校・高等学校では、6年間の計画的かつ

継続的な一貫教育体制をさらに推進するため、併設型中高一貫教育学校への移行を決定しました。

また附属中学校・高等学校は、4年連続で都内私立中学入学志願者数トップを達成しただけでなく、大学合格実績も、東京大学2名をはじめ、早稲田大学、慶應義塾大学に計93名の現役生が合格するなど目覚ましい結果となりました。同校では2013年度より、最難関国公立大を目標とする「Ⅱ類」と、難関国公立私大を目指す「Ⅰ類」の2コースを設けており、今後の進学動向にも期待が寄せられます。

国際社会を牽引するグローバルリーダーの育成を目標とする等々力中学校・高等学校は、英語国際教育や国際交流プログラムの充実に取り組んでいます。

学校改革を進める塩尻高等学校では、学科を再編し普通科のみの4コース制に移行するなど、着実に改革を進めており、2014年8月竣工予定の新校舎建設にも着手しました。

附属小学校は、「食育プログラム」や「音楽発表会」など豊かな心を育む多くの体験型カリキュラムを用意し、質の高い教育を実践しています。

学校間連携事業では、各高等学校の生徒が東京都市大学の講義を受講する「単位認定制度」を実施いたしました。また、様々な幼稚園行事に、都市大人間科学部の学生が参加し実地研修する「学生サポーター制度」を導入するなど、グループ校の総合力と結束力により、魅力ある学園へと進化を図っております。

附属各校では、課外活動も活発に行われており、とくに塩尻高等学校女子バレーボール部は、全日本高等

学校選手権大会(春高バレー)に3年連続出場し、2014年は全国第3位の快挙を達成しました。全国大会の常連として過去2回の優勝を果たしている等々力中学校・高等学校舞テア部は、2014年3月の大会にて、アメリカで開催される「世界高校チアリーディング選手権」への出場権を獲得するなど目覚ましい活躍を見せています。

2014年度は「中長期計画」と グローバル化の推進を図る

2014年度、最優先に取り組むべき課題は、「東京都市大学アクションプラン2030」の具現化です。

2013年度にこのプランを策定し、持続的発展のための将来ビジョン、目指すべき総合大学としてのあり方、大学の存在感を発揮できる分野への選択と集中など、大きな方向性と為すべきことが明確となりました。今後は、これらをいかにスピーディに実現するか、真価が問われます。そこで2014年度は、目標の具体化、数値化、および個別計画の立案と策定、諸施策の優先順位づけ、さらには実行へ向けた取り組みへと着実に推進してまいります。そのためにも、本プランの周知徹底、組織と人事、権限と責任の明確化、内外に向けた広報の強化を図り、教職員と法人本部とが一体となった、まさにグループ一丸の協力体制を構築します。

第二の課題は、グローバル化のさらなる推進です。

情報や技術の革新によって、国境を越えた経済活動が急速に進む今、グローバル化はもはや特別なことではなく、必然の流れです。東京都市大学では、オーストラリアキャ

ンパス構想の具現化を進めており、2015年4月には、「東京都市大学オーストラリアプログラム」をスタートいたします。これは、西オーストラリア州パース市のエディスコーワン大学で、ホームステイや寮生活を送りながら、語学力、異文化理解、国際性を磨き、自主性、自立心、克己心を高めていくという、独自性に富んだプログラムです。

附属中学校と等々力中学校では、2014年度入試から導入した帰国生入試が、予想を超える志願者を得ています。初年度の志願傾向や入学後の帰国生の状況などを精査、検討しながら、今後は一般入試を含めて募集方法などの改善と強化に取り組んでまいります。

グローバル化に関しては、各校個別の施策にとどまらず、グループ全体の重点テーマと捉え、組織的、継続的な取り組みを続けていきます。

「アクションプラン2030」において一つのメルクマールとした創立90周年の2019年は、東京オリンピック・パラリンピックの開催前年でもあります。この先、東京、そして日本が、経済的に社会的に大きな変化を迎えることは必至でしょう。このドラスティックな転換期にあって、私たちは決して現状に甘んじているわけにはまいりません。東京都市大学グループは、これからも重点的な課題を一つひとつ解決しながら、成長、発展、進化を続けて、未来に挑戦してまいります。

本事業報告書を通し、本法人が設置する各学校の現状と展望へのご理解を深めていただきますとともに、倍旧のご支援・ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。



東京都市大学グループの理念と目標

—進化とチャレンジの精神—

都市大グループの使命は、単に知識や技術の修得だけでなく、優れた感性と品性を備え、世界から待望される有為な人材を育て上げていくことです。本グループは、それぞれの学校がこれまで培ってきた歴史と伝統を生かしながら、それらを融合することによって得られる学園全体の総合力を最大限に発揮できるよう、グループの理念と目標を設定しています。通底するのは、未来に向かって着実に進化し、つねにチャレンジする精神です。

教育理念

健全な精神と豊かな教養を培い
未来を見つめた人材を育成します

教育目標

国際的な視野と情報活用能力を身につけ
健全な精神と豊かな教養をもって、
国際社会で活躍する
有為な人材を育成します

グループビジョン

都市大グループは、
未知の世界を切り開き、
未来に向かって挑戦します

脈々と受け継がれる初代理事長 五島慶太の想い

大学を頂点とする総合学園化



五島慶太 初代理事長



五島慶太翁生誕130年記念誌「熱誠」

本法人の初代理事長である五島慶太先生は、1882年4月18日、長野県小県郡に農家の二男として生まれました。東京帝国大学卒業後、官僚として鉄道業界の発展に力を注ぎます。その後、実業家の道へ進み、目黒蒲田電鉄（東京急行電鉄の前身）を創業。以来長期にわたり東急グループの経営に携わりました。その卓越した先見性により、交通を基盤とした「街づくり」を中心に様々な事業を展開する東急グループの礎を築きました。

一方で、国の繁栄と産業発展のためには、人材の育成が何より重要と、教育事業の推進に意欲を燃やします。1929年に東京都市大学の前身である武蔵高等工科学校を創設し、武蔵工業大学に発展させた西村有作氏の懇願により学校経営を引き受け、当時、五島先生が学校運営に携わっていた東横学園と統合することによって、1955年に学校法人五島育英会を設立しました。

人づくりの原点はまさに教育にありとの強い信念を持っていた五島先生の悲願が、大学を頂点とする総合学園化です。2012年は五島先生の生誕130年。これを記念して、教育事業に関する実績を網羅した記念誌「熱誠」を刊行しました。教育と研究に対する熱い思いを宿したその遺伝子は、今も都市大グループ各校に脈々と受け継がれています。

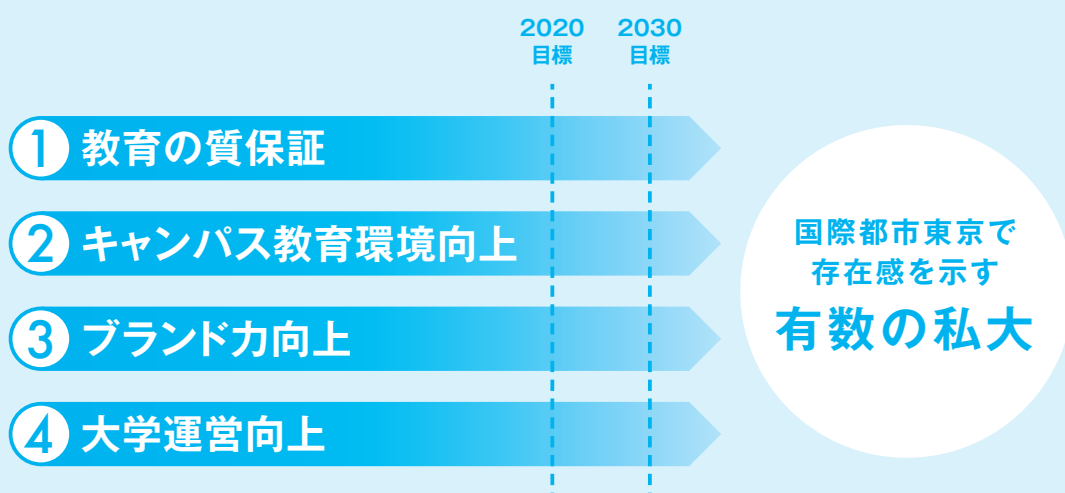


東京都市大学 アクションプラン2030

創立90周年、100周年に向けて

日本の教育機関を取り巻く社会環境は、2020年問題に象徴される18歳以下人口の一段の減少など、今後一層厳しくなることが確実視されています。このような従来にはない改革を求められる時代において、大学がアイデンティティを確立し、より一層社会に貢献するために、本学の持続的発展に向けた将来ビジョン「東京都市大学アクションプラン2030」を策定しました。

本プランは、創立90周年(2019年)と創立100周年(2029年)という中長期的な視点で、以下の4つのプロジェクトによる中長期計画(施策・事業)を推進し、将来ビジョン達成に向け、各種施策のもとに全教職員が力を結集させて計画的に改革を推進し、その成果をもって社会に貢献してまいります。



① 教育の質保証プロジェクト

- ・都市大教育理念に則った教育プログラムの確立
- ・教育の質を保証するためのマネジメントシステムの構築
- ・グローバル化に対応した人材の育成
- ・研究レベルに裏付けられた大学院での人材育成

② キャンパス教育環境向上プロジェクト

- ・施設の長寿命化および更新(アメニティ空間の改善)
- ・グローバル化に対応する施設
- ・良質な学修環境

③ ブランド力向上プロジェクト

- ・広報力の強化によるブランド力
- ・国際化の推進によるブランド力
- ・産学協同体制の構築によるブランド力
- ・創立記念事業によるブランド力
- ・東京オリンピック開催に合わせた“都市大”ブランド力の向上戦略

④ 大学運営向上プロジェクト

- ・中長期計画に基づくPDCAサイクルの確立と評価
- ・大学のガバナンス強化
- ・時代の変化に対応した大学運営組織
- ・収支に立脚した財務基盤の確立

詳しくはホームページへ

教育・研究

“未来を担う人材”を育てる都市大グループ。時代に即した教育改革を推進

【東京都市大学】

北澤宏一学長が着任。「一隅を照らす」人づくりを目指す

2013年9月1日、東京都市大学の第9代目学長に北澤宏一学長が就任しました。

北澤学長は東京大学工学系大学院修士課程修了後、米マサチューセッツ工科大学博士課程修了。東京大学工学部教授などを経て、独立行政法人科学技術振興機構理事長を務め日本の科学技術の発展に尽力。また、国際的な科学者として1986年以来の世界的な高温超電導フィーバーを牽引してきました。

北澤学長の教育モットーは、“学生たちが自分自身の夢を育て、その「夢に翼を」獲得でき

る教育”です。都市大で学ぶ学生諸君には、大学を卒業してまずは自分の力を生かして「一隅を照らす」存在になることを願います。また、学生が夢を実現するために必要な翼を得られるよう、サポートできる教職員の育成を目指します。

2013年12月には、ノーベル化学賞を受賞された白川英樹博士を迎えて特別講演会を開催するなど、学生の学びに様々な刺激を与え、都市大のさらなる飛躍に繋がる取り組みを始めています。



「夢に翼を」備えた若者の育成を掲げる北澤宏一学長

【東京都市大学塩尻高等学校】

進む学校改革。教育環境の整備充実を図るため新校舎・体育館の建設にも着手

“21世紀のグローバル化社会を、力強く生き抜くことができる健全な精神と高い知性を備えた人材を育成したい”その想いから、塩尻高等学校では、57年の伝統を継承しつつ、活力のある学校づくりに取り組んできました。

2013年度は、複雑なグローバル化社会に対応できる人材を養成するという新たな教育理念「Creation&Dignity-創造と品格-」を掲げました。当理念に基づき、21世紀の新しい時代の文化の創造、社会のイノベーションを担い、社会に貢献できる人材を育みます。また、これにより、従来の2学科体制から普通科1学

科のみ(国公立難関私大コース、総合進学コース、サイエンステクノロジーコース、スポーツコース)に再編。伝統ある工業系技術者の人材養成は、今後普通科のサイエンステクノロジーコースとして継承し、高度な技術者の養成を目指します。当学科・コースは、2014年度からスタートしています。

また、生徒たちの学習環境の改善を目指し、校舎と体育館を新築しています。グローバルリーダーの育成と新しい教育理念に向けて、塩尻高等学校は総合的な改革に取り組んでいます。



「生まれ変わる都市大塩尻高等学校」と呼ぶに相応しい様々な改革を進めています

【東京都市大学付属小学校】

シェフ三國清三氏の総合監修による食育プログラムが3年目に突入

付属小学校では、フランス料理家の三國清三シェフによる食育プログラム「ミクニレッスン」を2011年度から行っています。4年生を対象として1年かけてじっくりと食育を学ぶもので、満足度調査(保護者アンケート)で2年続けてほぼ100%の満足度を獲得するほど、保護者からも評価されています。

2013年度も4月から第1講が行われ、「甘味」「酸味」「塩味」「苦味」「うま味」という五味を学ぶことからスタート。その後の授業では、食事のマナーや箸の使い方を教わる他、かぼちゃのクッキーやいちごのムースといったス

イーツから、みそ汁やハンバーグなどの本格的な調理実習を行いました。さらに、学校の屋上菜園でラディッシュや野菜などを育てて、サラダの材料として使いました。服部栄養専門学校長の服部幸應氏など多彩なゲストティーチャーが参加する食育授業は、児童たちに本物の食を体験させる場となっています。

また、2013年7月に瀬戸内海の余島で実施した5年生の臨海学校では、三國シェフがサプライズで登場。ミクニレッスンのフォローアップ授業として野外バーベキューの指導をし、児童たちは楽しい時間を過ごしました。



実習を交えながら楽しく食の大切さを学べる「ミクニレッスン」を2013年度も実施

【東京都市大学】

岩手県陸前高田市で照明社会実験。灯りから地域の活性化を図る

都市大工学部建築学科教授 小林茂雄研究室らが、2013年9月11日から10月2日までの期間、東日本大震災の被災地である岩手県陸前高田未来商店街や竹駒町地区周辺(岩手県陸前高田市)にて、街灯設置による安心感や安全性を検証する照明社会実験を実施しました。

仮設地域となる同地域では、これまで街灯が設置されておらず、夜間は辺り一帯が暗がりとなってしまうため、人気がなく不安感を与えたり、足元が見えにくく転倒の危険があったり、津波時の高台への避難路が見えないことな

ど、安全面に課題がありました。そこに街灯を設置することで、温かな人の気配をつくり安心感と防犯性を高めるとともに、夜間の津波発生時の避難経路の照射による安全性を検証するものです。

期間中は学生が中心となって街灯を設置後、住民や商店主にアンケート調査を実施し、実験終了後には陸前高田市に常設照明の設置にむけて提案を行いました。

設置した照明の大半は、地域の方々の要請を受け、現状のまま寄贈しました。



散策したくなる街をコンセプトに、規則的な灯りでなく不規則な灯りを配置して人気を演出

【東京都市大学】

学生が講師となり福島県の小学校で放射線教育を実施

2013年9月3日、都市大原子力研究所の岡田往子准教授とメディア情報学部の小池星多准教授、小池研究室の3年生10名が福島市立湯野小学校(福島県福島市飯坂町)を訪問し、6年生約35名にインフォグラフィックス(情報やデータを視覚的に表現したもの)を用いた放射線教育を行いました。

この活動では、情報を図解により可視化して理解を深める「インフォグラフィックス」の手法を放射線教育の教材に応用。放射線、放射能、半減期、体の影響などわかりにくい言葉を図やイラストを使ってわかりやすく解説しました。

原子力・放射線の研究を専門としていない小池研究室の学生たちは、この制作を通し自らも学びながら、児童に対してよりわかりやすく放射線教育を実践。放射線の研究を専門とする「原子力研究所」と、情報デザインを研究対象とする「メディア情報学部」を有する都市大ならではの取り組みです。将来的にはより多くの教職員が容易に放射線教育を行えるようにすることを目指しています。

なお、今回の活動を含めた研究成果については、2014年3月本学で開催した日本原子力学会期間中に図書館で展示発表をしました。



児童にも理解できるよう、イラストを多用して解説。5か月程度かけてパネルの準備を行った

【東京都市大学】

高校生の環境保全活動の支援を図り創設「高校生環境活動グループ実践賞」

都市大環境学部が「第1回 高校生環境活動グループ実践賞」を開催しました。

このコンテストは、(株)環境新聞社、東急不動産(株)の後援のもと、環境問題が深刻化している今日において、将来を担う高校生グループが実践的に取り組んでいる環境保全活動を表彰、支援する目的で、2013年度に創設されたもの。全国から12件の応募があった中、最優秀賞には私立向上高等学校の生物部の調査研究「水環境における外来種問題」が輝きました。

2013年10月30日に横浜キャンパスで行

われた表彰式では、審査委員長の吉崎真司環境学部長から、「今回応募いただいた各高校(グループ)の取り組みは、どれもアクティブに活動されており、国内を代表するハイレベルな高校生の取り組みが集まりました。それら取り組みの考え方や手法が、本学環境学部の教育研究活動とマッチングする箇所も多く勇気づけられました。今後もコンテストを通して地球環境活動の促進につなげていきたい。」と講評。なお、表彰式は第15回ISO環境フォーラムのプログラムの中で行われました。



表彰式に参加した受賞校の生徒たち。200名以上の会場出席者に見守られ、盛大な表彰式となりました

国際人育成のさらなる強化を目指し グループ全体でグローバル教育の充実へ

【東京都市大学】

国際化業務を担う『国際部』を都市大事務局に新設

都市大では、これまで事務局社会連携センターで行ってきた国際化業務を独立させ、2013年5月から国際関係業務を専門に行う国際部を新設しました。

この部署は「グローバル化活動推進戦略の調査・企画・立案・展開」、「情報収集および周知」、

「海外の大学との交流協定の締結」などを主なミッションとしており、全学委員会の教員を中心とした「国際委員会」と連携しながら、大学として様々なプロジェクトの推進にあたります。

学部・学科の枠を越えた都市大全体としての専門部署に今後の期待がかかります。



2013年5月に学術交流協定を締結したタマサート大学(タイ)との研究セミナー記念写真

【東京都市大学附属中学校・高等学校】

ニュージーランド語学研修を生きたプログラムへ

2013年度より、ニュージーランドの語学研修プログラムを一新しました。従来は現地の専門学校の教室を借りてネイティブスピーカーの授業を受けるというものでしたが、2013年度からは、「バディ」と呼ばれる現地の生徒と行動をともにし、現地校で同じ授業を受けるようにしました。一緒に勉強するだけでなく、芝生でバディとスポーツを楽しむ参加者の姿も見

られました。

語学面で厳しい環境に身を置き、それをバディと乗り越えていくことで、英語の上達とともに海外でたくましく生きる力や自信をつけていくことを期待しています。参加者にプログラムの感想を聞くと、家族に対する感謝とともに英語への意欲がさらに強くなったという話が聞かれました。



本校生徒とニュージーランドの生徒がチームを組んだゲーム大会

【東京都市大学等々力中学校・高等学校】

英国ラグビー校との交流の深化

等々力中学校・高等学校では、教育理念である「ノブレス・オブリージュ」の精神を学ぶため、2011年から英国パブリックスクールの名門ラグビー校との交流に取り組んでいます。2012年末に同校と交流プログラム実施の覚書を交わした内容は、「オックスフォード大学の施設で行っている修学旅行を、2015年度からラグビー校での実施に変更」「短期・長期の交

換留学の開始」「将来的に、教職員の交流を行っていく」「ラグビー校のギャップイヤーの生徒を受け入れる」というものです。

また、2013年8月には、等々力中学校の2年生20名がラグビー校での語学研修に参加。寮生活や英語での授業、遠足などを体験でき、非常に意義深いものになりました。今後もこれらのプログラムを通じて交流を深めます。



英国の名門パブリックスクール・ラグビー校での語学研修には中学2年生20名が参加

【東京都市大学塩尻高等学校】

グローバルで活躍する人材を育てる様々な国際プログラム

塩尻高等学校では、英語の学力と発信型英語を育み、国際力をつける様々なプログラムを行います。具体的には、校内で英語漬けの環境をつくる「イングリッシュシャワー」、校外で英語合宿をする「イングリッシュキャンプ」(1年次)、実際に海外で過ごす「海外短期留学」(2年次)、ネイティブと語り合う「留学生との交流会」(3年次)などを企画しています。

こうしたプログラムの中から生徒は自分に合ったものを自由に選んで参加してもらいます。「イングリッシュシャワー」はすでにスタートし、「イングリッシュキャンプ」は2014年度から、「海外短期留学」は2015年度から実施する見通しです。

また英語だけでなく、自国文化を理解するための教養教育も重視し、英語教育と日々の授業の両輪で国際力の養成に取り組んでいます。



校内にしながら英語漬けの時間を過ごす「イングリッシュシャワー」

各校が全国の舞台で躍動 多くの人たちに夢と感動を与えた

【東京都市大学塩尻高等学校】

女子バレー部が春高バレーで全国第3位の快挙

創部5年目を迎えた塩尻高等学校の女子バレーボール部が、2014年1月5日に開幕した「第66回全日本バレーボール高等学校選手権大会(春高バレー)」に長野県代表として3年連続3度目の出場を果たし、全国第3位という快挙を成し遂げました。

準決勝では、全国総体覇者にして優勝候補の東九州龍谷高等学校から第1セットを先取しました。第2セット以降は接戦の末、惜しくも敗れてしまいましたが、大舞台で一步も退かない活躍で会場を沸かせました。ス

タンド応援席には塩尻高等学校の生徒や保護者、卒業生、教職員のほか、都市大グループ関係者ら600人を超える応援団が駆け付け、熱い応援を繰り広げました。また、当大会の優秀選手賞に高相みな実さんが選ばれました。

塩尻高等学校女子バレーボール部は、2014年4月に行われた「第19回全国私立高等学校男女バレーボール選手権大会」で、大会3連覇の目標には届かなかったものの、全国第3位に入賞しています。



春高バレーで全国第3位の女子バレーボール部

【東京都市大学等々力中学校・高等学校】

春高バレーで応援パフォーマンスを披露した舞チア部が世界大会出場へ

2014年1月11日、塩尻高等学校の女子バレーボール部が出場した「第66回全日本バレーボール高等学校選手権大会(春高バレー)」において、等々力中学校・高等学校の舞チア部 The Sparklersが、センターコートで舞台に応援パフォーマンスを披露しました。

塩尻高等学校と東九州龍谷高等学校の準決勝の第1セットと第2セットの間に、選手や監督への激励の意を込めて演技を披露。舞チア部はこれまででも、塩尻高等学校野球部が出場した2011年8月開催の夏の甲子園にも駆け付け、

チアリーディングで応援するなど、学内外における大会やイベントで、人々を勇気づけています。

「元気!勇気!笑顔!」をモットーに活動している舞チア部は、「全日本チアリーディング&ダンス選手権USA Nationals in Japan 2013 スクールアンドカレッジナショナルズ」の「Show Cheer部門 高校編成Advance」で大会2連覇を達成した強豪チーム。2014年3月に開催された同大会では惜しくも準優勝という結果でしたが、「世界高校チアリーディング選手権」の出場権を獲得しました。



春高バレーのセンターコートで日頃の練習の成果を披露し、会場を華やかに彩りました

【東京都市大学付属中学校・高等学校】

エコカーレースの全国大会で中学生クラスが見事初優勝

付属中学校・高等学校の自動車部は、2013年10月6日に栃木県のツインリンクもてぎで開催された「本田宗一郎杯 Honda エコマイレージチャレンジ2013 第33回全国大会」の中学生クラスにて、2位に大差をつけて初優勝しました。

「Honda エコマイレージチャレンジ」は、ホンダ製の50ccエンジンをベースとしたオリジナル車両で参加するもの。中学生クラスには14校28チームが出場し、規定の距離を走るのに要した燃料の量から算出された燃費を競

い合いました。

自動車部は、燃費競技用の車両を製作し大会に参加することを通じて、ものづくりの楽しさや重要性を認識し、創造力と工作技術の向上を図ることを目的に、1996年に創設されました。現在、中学生16名、高校生10名が在籍しており、毎年主に4つの競技会に参加しています。なお、同年6月に行われた「第5回Honda エコマイレージチャレンジ2013もてぎ大会」においても、中学生クラスのグループにて優勝しています。



2位に大差をつけ見事初優勝となった自動車部

グループのスケールメリットを生かし 学校同士が刺激し合う企画を展開

【東京都市大学 × 東京都市大学二子幼稚園】

都市大人間科学部の学生が幼稚園で活動をサポート

都市大グループでは、幼稚園から大学までのすべての学校間で、グループのスケールメリットを生かした連携強化を図っています。都市大人間科学部と二子幼稚園との幼大連携事業は、様々な年間行事で展開されています。

2013年10月6日に開催された二子幼稚園の運動会では、都市大人間科学部の学生サポーター15名がスタッフとして活躍しました。学生サポーターは、幼稚園教員のニーズに応えるため高い意識を持って活動に貢献しました。

その他、「ジャガイモ掘り(6月)」「夕涼み会(7月)」「さつまいも掘り遠足(10月)」「大根掘り(12月)」でも幼大連携は展開され、園児にとっての体験学習となるだけでなく、都市大

人間科学部で学ぶ学生にとっても実際に園児と触れ合うことのできる実地学習となり、双方にとって学ぶことの多い機会となっています。



都市大人間科学部の学生が運動会や、いも掘り遠足で園児をサポート



【東京都市大学 × 東京都市大学付属小学校】

小学生のグループ新聞づくりに向けて都市大の新聞会が勉強会を実施

付属小学校の4年生、5年生が2012年からチャレンジしているグループ新聞づくりの事前勉強会を、都市大の各キャンパスの新聞会がサポートしました。

付属小学校では、神奈川県私立小学校協会新聞教育研究会の主催で開催される「学校新聞まめ記者講習会」に参加しています。この講習会は、様々な学校の児童の混成グループで新聞づくりを行うもの。初めて顔を合わせるメンバーとも協力して実力を発揮できるようにするため、その事前準備として都市大生と勉強

会を行いました。

事前勉強会は記事や紙面レイアウト作成など4回にわたり行われ、都市大生が記事作成の指導を行ったり、様々な疑問に答えました。児童たちは自分の記事に責任を持つ厳しさを教わり、都市大生も真摯に新聞づくりを行う児童のひたむきさに刺激を受けた様子。終了後の反省会でも、児童独自の主張や意見と、都市大生のアドバイスをどのようにバランスさせるかなど活発な議論が行われました。この勉強会を継続することは、両校のより深い関係を築いていくことでしょう。



児童への指導を通じて、都市大生もたくさんのことを吸収する良い機会になっています

【東京都市大学等々力中学校・高等学校 × 東京都市大学二子幼稚園】

園児の知的好奇心を刺激する科学体験教室を実施

2014年3月6日、二子幼稚園が等々力中学校・高等学校の教員と理科部の生徒を講師に迎え、「科学体験教室」を昨年に引き続いて開催。年中組の園児を対象に、「ペットボトルでつくる空気砲」、「種コブター」、「電池をつくらう」、「電気泳ぐクラゲ」という4つのテーマで実験や学習が行われました。

当日は講師役の教員や理科部の生徒が、園児にも理解できるよう手順を丁寧にわかりやすく説明。ペットボトルにゴム風船をつけ、ろうそくに向け発射すると火が消える「ペットボトル

でつくる空気砲」を実演すると、園児から大きな歓声があがりました。

また園児は「電池をつくらう」で、りんごやかん、じゃがいも、玉ねぎなどの果物や野菜を使って電池ができることを知り、新しい世界がひらかれた様子でした。

参加した園児約70名は科学の原理や仕組みはわからなくても、「ふしぎ!」「おもしろい!」と楽しい体験をする中で、科学の面白さや不思議さに目を輝かせていました。



科学に触れる貴重な機会となっている科学体験教室

地域住民との交流を通じて 社会性に富む人材育成を目指す

【東京都市大学】

子育て支援センター「ぴっぴ」で保護者とのコミュニケーションを経験

都市大等々力キャンパスに併設されている子育て支援センター「ぴっぴ」が2013年6月で設立9周年を迎えました。同施設は保育者が常駐し、乳幼児と親が安心して一緒に遊べる場として全国の大学に先駆けて創設されました。1日平均100名程度の利用があり、神奈川県や千葉県など遠方から来る親子もいるほどです。

乳幼児を持つ家庭のサポート施設である一方、都市大人間科学部児童学科の学生にとって、「ぴっぴ」は子育て支援実習の場となつて

います。子供の保育と保護者の支援の両方を担う保育の現場において、保護者とのコミュニケーションは実習生にとって課題の一つ。保護者と話をするむずかしさを体験し、実習を終えた学生の中には「待っていても、ダメ。自分から話しかけていかないと」と反省し、親子のふれあいをサポートできるよう次の実習に意欲を燃やす学生もいます。

「ぴっぴ」は近隣の家庭を支える一方、学生の実践的な演習の場にもなっています。



2004年に開設された子育て支援センター「ぴっぴ」は毎日約100名が自由に道具や絵本を利用。人間科学部生は2年次からここで研修を行います

【東京都市大学】

科学体験教室で地域の子供に科学とふれ合う場を提供

2013年8月、東京都市大学世田谷キャンパスにて、「大学で楽しもう!! 小学生・中学生のための科学体験教室」が開催されました。夏休みを利用して科学技術や理科に対する関心を高め、子供たちの創造性や探究心を育成することを目指し、2002年から毎年開催されています。

2013年は、「体を使ってレゴロボットを動かそう!」、「夏も涼しいwindベルをつくろう」など、49テーマが出演。各ブースでは、科学の原理や実験手順をやさしく解説した資料が

用意され、学生スタッフの説明に耳を傾けながら、小中学生と同伴の保護者が一緒になって科学への理解を深めました。

また、10月には、地域連携の一環として、最寄りの尾山台商店街で行われた尾山台フェスティバルにて「東京都市大学 科学体験出張教室」を出展。ここでは「燃料電池の車に触れよう」、「四輪ロボットを動かそう」などを行いました。参加した子供は目を輝かせながら実験や工作を行い、学生スタッフの説明に耳を傾けて科学への理解を深めていました。



都市大の教育内容や研究成果を生かした様々なテーマを上演しながら、地域との交流を図っています

【東京都市大学 × 東急自動車学校】

ものづくりの楽しさを伝える「都市大エコ1チャレンジカップ2013」

2013年8月24日、東急自動車学校にて「都市大エコ1チャレンジカップ2013」が開催されました。同大会は「未来へ続くスマートドライブ」をテーマに、ものづくりの楽しさや環境・エネルギー問題への認識を深め、創造性に富む人材を育成することを目的に開催しています。

2013年も様々な中学校・高校のチームが参加し、工夫を凝らした電気自動車で効率的な走りを競いました。

順位はスラロームコースを早く安全に10

周走行し、車両のデザイン性も含めた総合評価で決められます。レースでは、華麗なドライビングテクニックを見せるドライバーやラップを記録するスタッフ、チームをまとめる顧問らが一丸となり、マシンの故障やバッテリー問題などのトラブルを乗り越えながらゴールを目指しました。各チームの懸命な姿に、会場も熱い熱気に包まれました。

競技終了後は、出走した全マシンをピットエリアに集結して技術交換会が開催され、マシンの特長など意見を交わっていました。



工学の理論と実践の場として、スキルと知恵を身につける絶好の機会となっている「都市大エコ1チャレンジカップ」

グローバル人材育成を目指す

“夢に翼を”を標榜し、



■教職員数 762名
■学生数 7904名(大学7313名、大学院591名)
■開設年 1929(昭和4)年
■所在地
 (世田谷キャンパス)
 〒158-8557 東京都世田谷区玉堤1-28-1
 TEL.03-5707-0104
 (横浜キャンパス)
 〒224-8551 神奈川県横浜市都筑区牛久保3-3-1
 TEL.045-910-0104
 (等々力キャンパス)
 〒158-8586 東京都世田谷区等々力8-9-18
 TEL.03-5760-0104
※教職員数、学生数は2014(平成26)年5月1日現在
 ※教職員数は非常勤教職員を含む



北澤 宏一 学長

東京・横浜という世界最大級の都市圏の中心にある本学は、今後起こりうる大都市問題に対し、東京・横浜の都市学のノウハウを学問として樹立し、世界に発信していく義務があると思います。そのために6学部18学科と2研究科12専攻の体制で、都市の課題を探り、解決していきます。併せて、教育・研究環境をより一層整備し、今後求められるグローバル人材を育成していきます。

さらなる改革がスタート! 「アクションプラン2030」

グローバル化や少子高齢化・人口減少など、大きなうねりの中にある社会情勢などを背景に、本学では創立90周年(2019年)、創立100周年(2029年)という中長期的な視点を持った将来ビジョン「東京都市大学アクションプラン2030」を2014年3月に策定しました。「教育の質保証」「キャンパス教育環境向上」「ブランド力向上」「大学運営向上」という4つのプロジェクトを設定し全教職員が力を結集させて計画的に改革を推進。その成果をもって社会に貢献していきます。

時代と社会のニーズを見据え 改組などを積極的に展開

2013年4月に環境情報学部を再編し、環境学部(環境創生学科、環境マネジメント学科)とメディア情報学部(社会メディア学科、情報システム学科)の2学部4学科体制に改組するとともに、工学部生体医工学科を医用工学部に、知識工学部情報ネットワーク工学部を情報通信工学部に名称変更しました。大学院においては、環境情報学研究科に都市生活学専攻を開設しました。時代と社会の

ニーズに即した教育と研究、人材の育成に向け、今後もより特色ある大学づくりを目指します。

志願者は1万8,000名超え インターネット出願も導入

2014年度募集の学部入試は、大きく増加した前年とほぼ変わらない志願者数を確保。総数は2年連続で1万8,000名を超えました。

「センター利用入試」「全学統一入試」「一般入試(前期・後期)」では、「インターネット出願」を導入し、受験生の利便性向上を図るとともに、紙の使用を削減して環境保護にも貢献しました。

キャリア支援の取り組み “就職に強い大学”を顕示

これまで多くの優れた人材を世に送り続け、その実績から本学には「就職に強い大学」という伝統があります。これからのその伝統を受け継いでいけるよう、全学で様々なキャリア支援を積極的に実施しています。

まず入学して間もなく、自ら考え行動する力を磨く「キャリアポートフォリオ」の配付や自分の強み・弱みを分析する「キャリアアセスメント」を行います。その後、将来社会に出てからの意識を高めるキャリア関連授業やガイダンス

を実施します。また本学では特にインターンシップへの参加も就職につながる人間力向上の良い機会と捉え、国内外への派遣の機会を積極的に提供しています。

就職活動を迎える時期には、就職指導の専門家が設計したプログラムを多数開催し、入学から卒業まで一人ひとりの学生に合致したキャリア形成サポートを実践しています。

その結果、2013年度の就職実績は全国平均94.4%(文部科学省・厚生労働省発表)を超える96.6%(各学部平均)という高い数字を維持できました。

今後も、就職指導や支援体制を強化するなど、キャリア支援に力を入れていきます。

グローバル人材育成に向けて 新たな施策を開始

産業界をはじめとした様々な分野でグローバル化が進む中、本学でもそれに対応する数々の取り組みが推進されています。

今後本学のグローバル化への取り組みを加速させるため、この4月に「国際センター」を組織しました。

具体的な取り組みとして、本学が推し進める「東京都市大学グローバル人材育成プラン」の一つとして、国際的な視野とコミュ

東京都市大学の学部学科・大学院研究科構成

学部	学科	大学院研究科	専攻
世田谷キャンパス	工学部	工学研究科	機械工学専攻
	知識工学部		機械システム工学専攻
横浜キャンパス	環境学部	環境情報学研究科	電気電子工学専攻
	メディア情報学部		生体医工学専攻
等々力キャンパス	都市生活学部	環境情報学専攻	情報工学専攻
	人間科学部		建築学専攻

※早稲田大学大学院との共同教育課程制度による専攻

ニケーション能力を持った、時代に柔軟に対応できる人材の育成を目的に、2015年度より「東京都市大学オーストラリアプログラム」をスタートさせます。このプログラムは、本学2年次の学生200名が、西オーストラリア州バース近郊にあるエディスコワン大学(ECU)に4か月間留学し同大学で開講される英語科目や教養科目を受講するものです。このほかにも本学のグローバル化戦略として、ECUをはじめとする海外協定大学との交換留学の促進や受け入れ留学生の増加などの様々な施策についても積極的に取り組んでいく予定です。

2013年度の事業実績

区分	事業	概要
教育活動	教育体制	・中長期計画「東京都市大学アクションプラン2030」を策定 ・環境情報学部を改組し、環境学部とメディア情報学部を設置 ・大学院環境情報学研究科に都市生活学専攻を新設
	キャリア教育	・東急グループ企業19社に64名の学生がインターンシップに参加。成果発表会を開催 ・キャリア支援プログラムの一環として開催した「学内企業研究会」に約600社が参加 ・タイ、オーストラリア、アメリカ企業でのインターンシップに学生が参加し成果発表会を開催
	学生支援	・五島育英基金の奨学金を大学院生、学部生70名に給費 ・海外研修資金の貸与制度により、海外での学会・研修などで費用捻出が困難な学生を支援 ・全国20会場で「大学と保護者との懇談会」を開催(1,673世帯が参加) ・東日本大震災で被災した学生に対し、学修の機会を維持できるよう学費免除などの緊急支援を実施
研究活動	実施事業	・曾根奨学金 人間科学部主催「第5回学術講演会」を実施 ・経営システム工学部特別講演会「グローバル経営講座2013」を実施 ・本学と東京大学生産技術研究所による第2回学術連携シンポジウムを実施 ・本学と東急不動産株式会社次世代技術をテーマとした産学連携に関する契約を締結
国際交流		・2013年5月10日、タマサート大学(タイ)と学術交流協定を締結 ・様々な海外フィールドワーク研修を実施
社会貢献		・図書館企画展「ミクロの発見」を開催
広報活動	入試 実施事業	・受験生の利便性向上を図るため、インターネット出願を導入 ・東急大井町線「尾山台」駅および「等々力」駅ホームに大学名を用いた副駅名称を導入 ・英語版コンテンツ(パンフレット、ホームページ)のリニューアルを実施
グループ連携		・人間科学部の学生がサポーターとして二子幼稚園の各種行事に参加 ・塩尻高等学校にて本学教授陣による「市民公開講座」を開催
施設設備		・世田谷キャンパス新1号館が竣工

東京都市大学の海外協定校

- オレゴン工科大学(アメリカ)
- 北京建築工程学院(中国)
- スロバキア工科大学(スロバキア)
- パデュー大学(アメリカ)
- 南台科技大学(台湾)
- 武漢大学(中国)
- サストラ大学(インド)
- カーティン大学(オーストラリア)
- ソフィア工科大学(ブルガリア)
- 北京林業大学(中国)
- カンタベリー大学(ニュージーランド)
- トリブワン大学(ネパール) [環境学部・メディア情報学部]
- エディスコワン大学(オーストラリア)
- タマサート大学(タイ)

東京都市大学 外国人留学生の出身国・地域別人数

国籍・地域	学部	研究科	合計
中華人民共和国	54	11	65
大韓民国(韓国)	7	0	7
中華民国(台湾)	1	1	2
ベトナム社会主義共和国	2	0	2
タイ王国	2	0	2
ネパール連邦民主共和国	1	0	1
イラン・イスラム共和国	0	1	1
サウジアラビア王国	0	1	1
セネガル共和国	1	0	1
オーストラリア	0	1	1
合計	68	15	83

(単位:人) 2014年5月1日現在



ウェブサイト <http://www.tcu.ac.jp/>

東京都市大学 附属中学校・高等学校

TOKYO CITY UNIVERSITY JUNIOR AND SENIOR HIGH SCHOOL

夢を
実現する力をつける
学力を
向上させることで



■教職員数 122名
■生徒数 1501名 (中学校795名、高等学校706名)
■開設年 中学校1956 (昭和31)年
高等学校1951 (昭和26)年
■所在地
〒157-8560 東京都世田谷区成城1-13-1
TEL.03-3415-0104
※教職員数、生徒数は2014(平成26)年5月1日現在
※教職員数は非常勤教職員を含む



小野 正人 校長

2013年度は、完全中高一貫2期生が、過去最高の大学合格実績を更新しました。また、語学研修プログラムの改善や帰国生入試の実施など、グローバル化に向け大きく踏み出した一年でもありました。これからも学力向上はもちろんのこと、キャリア教育や進路指導を通じて生徒のモチベーションを高め、「たくましく生きる力」を育てていきます。

中学志願者と難関大合格者が過去最高の記録を達成

2013年度の卒業生は、大きく躍進した前年度を上回る大学合格実績を挙げる事ができ、4年連続で最高記録を更新し続けています。

国公立大学の合格者は54名。現役で東大に2名、東工大に5名、一橋大に3名をはじめ、最難関国公立大学への合格者が増加しました。私立大学は、早慶上理(早稲田大、慶應義塾大、上智大、東京理科大)とICU(国際基督教大)に203名(昨年127名)、GMARCH(学習院大、明治大、青山学院大、立教大、中央大、法政大)に256名(昨年201名)が合格と、大幅に人数が増えました。

2014年度の中学入試の志願者総数は、昨年を超える5,246名。中学受験人口が過去5年間で20%以上減少している中、5年連続の志願者増、さらに4年連続して都内私立中学でトップの志願

者数を達成しました。さらに高い学力の志願者に対応するため、1クラスだったⅡ類(最難関国公立大)の募集を2014年度から2クラスにしました。2014年度の中学入試から募集をスタートさせた帰国生入試では、海外でも合同説明会などの広報活動を行い、想定を上回る146名の応募があり19名が入学しました。

グローバル化を強化するため語学研修プログラムを変更

2013年度はグローバル化を推進するため、中学3年生と、高校1年生を対象にしたニュージーランドの語学研修を大幅に変更。ホームステイをし、現地の生徒と同じ授業を受ける3週間のプログラムを行いました。

小学校でも英語が取り入れられてきているので、英語と算数によるグローバル入試を来春より導入します。さらにニュージーランドだけではなく、アジアやアメリカ

への研修旅行も実施に向け検討に入っています。

生徒が考え、自ら動くことで「たくましく生きる力」が育つ

学校行事などを見直し、学力だけではなく、「たくましく生きる力」を育てる教育を実践していきます。

その一つとして、東日本大震災以降中断していた臨海学校を新潟で行う予定です。2013年度には、中学と高校の生徒会を一体化したいという意見が生徒から出され、実施することになりました。

これからも、生徒が考え、自分たちで行動できる環境を整えていきます。



NZ・ケルストン校ではワイタケレ自然公園で校外授業を実施

2013年度の事業実績

区分	事業	概要
教育活動	教育設計	・各定期試験終了後に教科会議を設定し、問題や結果の分析を行い、指導を改善 ・指導改善の一環として、外部講師による外部模試の結果分析・報告会を実施 ・自習室をチューター1名とコーディネーター1名体制とし、週4日20時まで開室
	研修	・授業力向上を目指し、授業アンケート結果分析会・教科研修、公開授業などを実施 ・授業力向上のために、予備校のセミナーなどへの参加、夏期教育研究会などを実施
	カリキュラム	・英検合格率は中学3年生で3級以上98.3%、準2級以上55.6%で、目標を達成 ・演検合格率は高校1年生で準2級に98名(42.2%)が合格し、目標を達成 ・高校1年生の中期修論は、4月にプレ集会を開催するなど、改善策を実行 ・中学3年生のキャリアスタディの改善のために、プログラムを再検討
課外活動		・全国大会出場が9件、個人でも世界大会第3位(ロボカップジュニア)と、各部活動が活躍



ウェブサイト <http://www.tcu-jsh.ed.jp/>

グローバルリーダーの育成を柱に ノブレス・オブリージュの教育と



■教職員数 96名
 ■生徒数 989名(中学校474名、高等学校515名)
 ■開設年 中学校1947(昭和22)年
 高等学校1948(昭和23)年
 ■所在地
 〒158-0082 東京都世田谷区等々力8-10-1
 TEL.03-5962-0104
 ※教職員数、生徒数は2014(平成26)年5月1日現在
 ※教職員数は非常勤教職員を含む



原田 豊 校長

2013年度は、前年度と比べて卒業生の数は少なかったですが、これまで蓄積した学習システムと教育プログラムにより、最難関と難関私立ともに合格者の割合が増えるという進学実績を残せました。今後も、教育環境の強化と新たなプログラムを導入して「ノブレス・オブリージュの教育」と「グローバルリーダーの育成」に力を入れていきます。

各クラスの生徒が健闘し 難関大学の合格割合が増加

2013年度は前年度に引き続き、特選クラス・特進クラスとともに、良い結果を残すことができました。

大学合格実績は、国公立大学こそ9名でしたが、早慶上理(早稲田大、慶應義塾大、上智大、東京理科大)とICU(国際基督教大)は20名で学年全体の18.3%になります。GMARCH(学習院大、明治大、青山学院大、立教大、中央大、法政大)と同社大、立命館大も39名で35.8%と、私立最難関と難関大学については昨年よりも合格者の割合が増えています。また、付属進学制度を利用して都市大に合格した生徒は33名でした。

2014年度募集の中学入試は、志望者総数が2,567名。2010年度の共学部スタート以来、志願者倍率の大幅な上昇が続いていましたが、難易度向上の影響もあり、その

数値は少し落ち着きを見せました。

また、様々な背景を持った者同士が相互に刺激し合い努力することがグローバルリーダーの資質であるという考えに基づき、2014年度の中学入試から帰国生入試を導入しています。

オーストラリアの高校への 語学研修をスタート

共学部の立ち上げから「グローバルリーダーの育成」を一つの柱に、国際教育プログラムに取り組んできました。2013年度は英国の名門パブリックスクールのラグビー校との連携事業がスタートし、その一環として、大学入学を控えた現地の生徒が来校し、本校生徒と交流を図っています。

2014年度は、オーストラリアにある理系エリートを育成するクイーンズランド・アカデミー高校への語学研修をスタートします。大学の医学部でレクチャーを受けたり、研修を見学したり、理系に特

化したものです。ラグビー校との交流とともに、海外国際交流事業の柱として発展させていきます。

理科教育を充実させ 新たなコースを導入

2013年度には中学1・2年生の理科を実験中心で行う「SST(Super Science Todoroki)プログラム」を導入し、理科教育を充実させました。今後も、グローバルリーダー育成のための新たなプランを考えています。

また、本校創設者の五島慶太先生の偉業や建学の精神をもっと生徒たちに教え、「ノブレス・オブリージュ」の精神を伝える教育を推進していきます。



「SSTプログラム」を導入し、1・2年生の理科は実験中心で行われる

2013年度の事業実績

区分	事業	概要
教育活動	教育設計	・生徒成績記録シートの新システムを全教員が習熟。新たな生徒成績表を作成 ・評定を検討し、新評価システムの原案を作成。2014年度より実施する体制を整備
	授業改善	・読書甲子園、読書コンペの他、ピブリオバトル、オーサービジットを実施 ・中学2年生がアフリカの共同研究を行い、保護者を招いてプレゼンテーションを実施
	キャリア教育	・部や学年単位でTQノートと自習室の利用を高める運動を展開 ・ノブレス・オブリージュの教育をもととする、新キャリア教育ビジョンの概略が完成
	生徒指導	・WFP(国連世界食糧計画)との連携、高齢者福祉施設から藍桐祭へ招待するなど、自主性を醸成
広報活動		・広報媒体の変更、塾回りの強化などにより、各地区の説明会参加者数が増加 ・「等々力スクールライフ」を発行し、学びと楽しさの両面の広報を展開
その他		・火災・風水害・防犯・感染症の各マニュアルの目録を付けながら、「震災マニュアル」を完成



ウェブサイト <http://www.tcu-todoroki.ed.jp/>

東京都市大学 塩尻高等学校

TOKYO CITY UNIVERSITY SHIOJIRI HIGH SCHOOL

学力を向上させるとともに 生徒の楽しめる学校に



■教職員数 69名
 ■生徒数 793名
 ■開設年 1956 (昭和31)年
 ■所在地
 〒399-0703 長野県塩尻市広丘高出2081
 TEL.0263-88-0104
※教職員数、生徒数は2014(平成26)年5月1日現在
 ※教職員数は非常勤教職員を含む



赤羽 利文 校長

長野県全域に少子化の影響が出ていますが、2014年度入試における本校の志願者数は昨年を上回りました。大学合格実績についても、生徒の努力が結果として表われてきています。また2014年8月には、新校舎が完成します。これからは、さらに教職員のスキルアップを図り教育の質を上げ、生徒の学力とともに、心も成長できるような学校環境をつくっていきます。

学科を再編成し特色ある コースを持つ普通科に

2013年度は、横浜市立大、東京学芸大、信州大をはじめ、近年では東京農工大、埼玉大、山梨大、前橋工科大、都留文科大などの国公立大学に合格しました。青山学院大、東京理科大、中央大などの有名私立大学へも多くの合格者を輩出しています。都市大には7名が進学しました。

また、2014年度入学生より「特別選抜類型」と「文理進学類型」から成る普通科に再編成しました。昨年は広報活動に力を入れ、十数校の予備校と中学校を訪問し、学校説明会や体験学習を開催しました。その結果、入試の志願者数は1,249名。昨年に比べ249名増えました。

入試改革にも積極的な本校では、これまでの入試問題を分析。出題レベルの向上を図るため、県立高校の入試問題に準拠した出題内

容に変更し、受験生の学力明確化を推進しました。その結果、教育関係者より良問との評価を受け、受験生増の要因の一つとなりました。

国際力の育成を強化する 新たなプログラムを導入

組織的な教育力を向上するため、教科ごとに教員が授業内容の意見を交換する「研究授業」の回数を増やすとともに、教員相互の授業を参観する「授業研究」を実施。生徒の学力を伸ばす授業に取り組んでいるかを教員同士で検証しました。

国際教育プログラムとして校内で英語漬けの「イングリッシュタワー」を導入しました。2014年度は、英語での合宿「イングリッシュキャンプ」を実施するなど、国際力育成を強化します。

また、従来より1日あたりの授業時間を15分多くし、3年間で24単位増やしました。それに伴い1コマの授業時間を45分とし集

中力をアップさせ、授業内容の深い理解と定着を図ります。

行事や部活動を充実させて 生徒たちの居場所をつくる

学校は学力を向上するとともに、学生にとって楽しい場所であればなりません。そのため、体育祭やスピーチコンテストなど、新しく行事を取り入れました。

また、春高バレーで全国大会第3位の女子バレーボール部をはじめ部活動も活発です。

2014年8月には、新しい体育館と校舎が完成し、教育環境が整っています。今後も生徒それぞれの居場所があって楽しく、豊かさを感じられる学校を目指します。



学校生活がより楽しいものになるよう、2013年度から体育祭を実施

2013年度の事業実績

区分	事業	概要
教育活動	教育設計	・新シラバスを作成し、授業展開と指導方法の研究を行い、授業改善を実施 ・学力向上を目指し、習熟度別授業、計画的な宿題によって学習量を増加
	キャリア教育	・研修旅行で企業見学を行い、修学旅行では京都大学などでキャリア教育を導入 ・月1回、担任と生徒の面談を実施。学力向上部と連携し、学習カウンセリングを実施
	その他	・英検1級に2年生(当時)1名が合格
研究活動	入試	・各入試を検討し出題レベルの向上を図り、入試問題作成委員会を設置
広報活動		・学校説明会および中学校訪問回数を増加。結果、参加者数は前年度比149名増加
課外活動		・塩尻市のクリーンパートナー制度に加盟。清掃や河川に花を植える活動を定期的実施
グループ連携		・双方向通信システムを利用し都市大環境学部と遠隔授業を実施
その他		・新たな学校行事(体育祭など)で生徒が達成感や満足感を得られるよう、生徒会中心で運営



ウェブサイト <http://www.tcu-shiojiri.ed.jp/>

東京都市大学 付属小学校

TOKYO CITY UNIVERSITY ELEMENTARY SCHOOL

「高い学力」と「豊かな心」が身に付く
日本一楽しく中学受験できる小学校



■教職員数 34名
■児童数 477名
■開設年 1956(昭和31)年
■所在地
〒157-0066 東京都世田谷区成城1-12-1
TEL.03-3417-0104
※教職員数、児童数は2014(平成26)年5月1日現在
※教職員数は非常勤教職員を含む



重永 睦夫 校長

2009年に都市大グループとなってから新校舎も完成して、学校改革を進めてきました。「日本一楽しく中学受験できる小学校」としてメディアからも紹介されるようになり、2014年度入試は志願者数が大きく増加しました。今後も「高い学力」と「豊かな心」を教育の柱にして児童教育の計画を練り上げ、志願者数に表われた高い期待に応えていかなければならないと思っています。

学校改革の効果が表われ 志願者数は400名を達成

本校では、中学受験に対応する「高い学力」を教育の柱の一つとしています。2013年度の卒業生も、麻布中・開成中をはじめとした私立・国立の難関校に数多くの児童が進学しました。

2014年度募集の入試においては、80名の定員に対して400名の応募がありました。目標よりも2年早く志願者数400名を達成できました。新校舎建設と都市大グループ誕生にあわせた諸改革が評価されていること、付属中学校・高等学校と等々力中学校・高等学校の人气が高まっていること、そして他の私立小学校とともに合同の進路相談会を行ったことが応募者数の増加につながったと考えます。来年度以降はさらに、この数字を伸ばせるように尽力します。

体験を通して心を磨ける 年間60を超えるプログラム

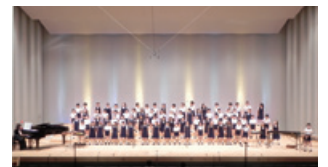
もう一つの教育の柱は、「豊かな心」を育むこと。「楽しくなければ小学校じゃない」をコンセプトにしており、宿泊行事と体験学習の数は60を超えています。半数は低学年を対象にしたもので、2013年度も、新潟でのスキー教室や瀬戸内海で行う臨海学校など、学校の敷地内だけではなく、日本列島をキャンパスとして利用した様々な体験プログラムを展開しました。こうした経験を通して、苦しい中学受験を乗り越える強い心を磨いています。

2013年度からは、2期制を導入しました。5月に実施する運動会、10月に行われる音楽発表会前後の行事を中心とした期間と勉強集中月間を明確に分け、ダイナミックな教育を展開でき、また教員たちは、より授業や児童と向き合う時間が持てるようになりました。

グローバル化に対応する 新たなプログラムを導入

2014年度から、グローバル化プログラムを強化。まず、ネイティブの先生を常勤にし、さらに低学年の英語の授業を週2回に増やし、4年生に外国人スタッフと英会話できる「プリティッシュヒルズ」での宿泊学習を導入します。

また、児童の健康を考え、近い将来、グラウンドの芝生化も計画しています。その他、生徒の登下校をメールで伝えるシステムを早くから設置したり、地震、火災、不審者対策の訓練を実施したりしています。今後も児童が安心して学べる環境を整備します。



府中の森芸術劇場どりーむホールで開催した音楽発表会

2013年度の事業実績

区分	事業	概要
教育活動	教育設計	・理科授業の充実を図り、都市大主催の体験教室で科学する力を養う取り組みを実施 ・校務システムによる「成長のしおり」、「指導要録」の効率化を図り、児童評価を明確化
	研究活動	・学年でテーマを定め、授業研究、外部研修、公開授業の参観などで教育の質を向上
	行事	・行事の指導目標を明確にし、臨海学校でも三國清三シェフによる野外体験学習を展開 ・行事の主体性をもたせる指導を徹底。児童集会は、児童提案のもと自主性を重視するよう変更
研究活動	キャリア教育	・理科、国語、算数、社会の学力アップによる進学実績向上に向け、中学進学部を創設 ・図書室兼メディア教室の充実を目指しプロジェクトチームを設置。有効活用に向け展開 ・メディア教室に受験情報コーナーを設置。フリーの教員が対応するなどの取り組みを実施
	セキュリティ	・教育機器の効果的活用法の研究を継続し、メディア教室の機器を使用して展開
		・成城警察署の協力を得てセーフティ教室、交通安全指導など、安全教育を充実化



ウェブサイト <http://www.tcu-elementary.ed.jp/>

東京都市大学 二子幼稚園

TOKYO CITY UNIVERSITY FUTAKO KINDERGARTEN

「課題」と「自由」を組み合わせた学びを通じた学びを実践する



■教職員数 14名
 ■園児数 209名
 ■開設年 1955(昭和30)年
 ■所在地
 〒158-0094 東京都世田谷区玉川2-17-10
 TEL.03-3708-0104
※教職員数、園児数は2014(平成26)年5月1日現在
 ※教職員数は非常勤教職員を含む



重永 睦夫 園長

2013年度は、付属小学校長と兼任することとなり、幼稚園と小学校を往復する一年間でした。本園は「健康・知性・風格・自立・感動と畏敬」を建学の精神とし、「課題あそび」と「自由あそび」を組み合わせる三育(知育・徳育・体育)と食育をすすめています。教育、教員、保育施設というすべてが恵まれた環境を生かし、地域の皆様に愛され、他園からも尊敬される幼稚園を目指します。

それぞれの進路に合わせ 全方位型の教育を行う

少子化の影響がある中、2014年度の入園審査は、定員70名に対して志願者が106名と、ほぼ例年通りとなりました。

卒園後については、毎年15名前後が推薦入学制度を利用し、付属小学校に入学しています。2014年度は、10名が進学しました。筑波大附属小といった国立と聖心女子学院初等科などの私立に進学する他、近隣の玉川小といった公立小学校など、進学先は広範囲に及びます。そのため、それぞれの進路に合わせた全方位型の幼小接続の教育に取り組んでいます。

本園では、机に向かって折り紙やお絵描きをさせたり、絵本を読み聞かせたりする「課題あそび」と、教室や庭で思い思いの時間を過ごす「自由あそび」を組み合わせています。園庭には四

季折々の草花や樹木が植えてあり、遊びを通して季節感を養います。また、正月や節句など日本の伝統的な行事や遊びも取り入れ、感性豊かな多くの体験学習が行えるように努めています。

都市大グループの連携で 各種イベントをサポート

2013年度は、都市大グループ間の連携を強化しました。運動会や大根掘りなどの行事では、都市大人間科学部児童学科の学生がサポーターとして参加しました。

2012年度から等々力中学校・高等学校と連携してスタートした科学体験教室は昨年も実施。並べた紙コップや卵の上にベニヤ板を置き、何人乗れるかという実験をしました。なかなか潰れない紙コップや卵を見て、多くの園児が感動していたようです。こうした園児の知的好奇心を刺激する取り組みを、今後も継続していきます。

園児たちが安心できる 学びの環境を提供する

2013年4月以来、副園長の「先生ブログ」更新頻度を上げ、保護者への情報発信に努めました。子供の様子がよくわかると、保護者から非常に好評です。ホームページをスマートフォンから見られるようにしたこともあり、アクセス数が大幅に増えました。

また、災害対策として遊具や施設を点検し、耐震補強を行いました。これからも園児が安心して通える環境を整え、遊びを通じた知育・徳育・体育、そして食育を進めていきます。



等々力中学校の生徒らによる科学体験教室で紙コップを台にしたベニヤ板に何人乗れるかチャレンジした



ウェブサイト <http://www.tcu-futako.ed.jp/>

2013年度の事業実績

区分	事業	概要
教育活動	教育設計	・野菜の収穫までの過程を観察することで食育への興味関心を深める活動を実施
	教育内容の充実	・絵本や音楽CDの活用など、教育環境を通して主体的に多文化に触れるよう工夫 ・国旗やアルファベットの絵本を用い、多文化に触れられるよう工夫 ・他国籍の子供たちと関わり、その国の文化を紹介する場面を設定 ・N響などプロの音楽家や劇団を招いて本物に触れる活動を実施
グループ連携	行事	・年長と年中組を対象に等々力中学校・高等学校の「科学体験教室」を開催 ・各種行事は、都市大人間科学部児童学科による学生サポーターの参加のもと実施

教育関連施設

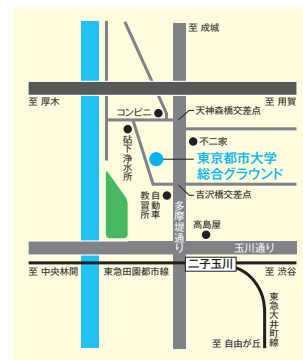


【施設DATA】

所在地：東京都世田谷区鎌田1-16-1
 設備：野球場1面(両翼90m、中堅100m)、テニスコート4面、多目的グラウンド1面(テニスコート9面相当)、クラブハウス2棟
 アクセス：東急田園都市線二子玉川駅から東急バス砧本村行きで約10分、「都大総合グラウンド前」下車すぐ／成城学園前行きで約7分、「吉沢」下車徒歩5分

東京都市大学 総合グラウンド

総合グラウンドは、都市大グループを形成する大学から幼稚園までの学生・生徒・児童・園児たちが、健康と体力の増進をはじめ、様々な教育活動、学校生活の充実を図る場所として、2010年6月に開設しました。敷地面積は26,901㎡。各校の中間地点に位置しています。「グループ全体の総合力発揮」を体現する施設、取り組みの中心となるよう、施設設備の整備と充実を図り、信頼感と安心感ある学園づくりに取り組んでいきます。

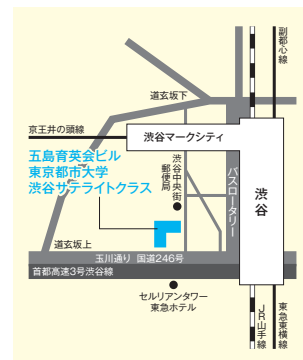


【施設DATA】

所在地：東京都渋谷区道玄坂1-10-7 学校法人五島育英会ビル地下1階
 設備：教室(48名収容)、教員控室、受付、プロジェクター、プラズマディスプレイなど
 アクセス：JR渋谷駅西口(南改札)から徒歩5分／京王井の頭線渋谷駅西口から徒歩2分

東京都市大学 渋谷サテライトクラス

2010年4月、東急各線をはじめ、JR各線、複数の地下鉄路線が乗り入れる渋谷に「東京都市大学渋谷サテライトクラス」が誕生しました。渋谷駅から徒歩5分という好立地にあり、東京都市大学と早稲田大学による共同大学院「共同原子力専攻」(2010年4月開設)の教育・研究開発の拠点として利用されています。周辺には宿泊施設も充実しており、企業・官公庁・大学、さらには世界各国からの技術者・研究者が来訪しやすい好環境となっています。



【施設DATA】

所在地：山梨県北杜市高根町清里3545-1
 設備：宿泊室(和室14畳:11室、8畳:1室)、ラウンジ、ダイニング、乾燥室・洗濯室、浴室、展望室など
 アクセス：JR中央線小淵沢駅から小海線清里駅下車、タクシーで約10分／(東京から)中央自動車道須玉ICから国道141号線
 ホームページ：http://www.yatsu-tcu.jp/

五島育英会 八ヶ岳山荘

八ヶ岳山荘は、大自然の山懐に優しく包まれた清里高原にあります。都市大グループの学生・生徒および教職員などが、ゼミやクラブの合宿、研修場所として利用することができるオールシーズン型の宿泊施設です。館内には12の和室があり、ラウンジや食堂、浴室、展望室のほか、体育館を併設しています。周辺エリアには、清里の森美術館やオルゴール博物館など著名な観光スポットがあり、良い環境のもと様々なことを学ぶことができます。



東京都市大学主催「渋谷カフェ」がスタート(渋谷サテライトクラス)

「渋谷カフェ」は、いま話題の「？」や「!」をテーマに、参加者が気軽にディスカッションを楽しめ、広く社会とのつながりを構築できる場として、2014年2月よりスタートしました。2013年度中に3回開催し、いずれも講演者と参加者による積極的な意見交換が行われました。

【開催概要】

- 第1回(2014年2月18日) テーマ:「脳科学者が世界に「UMAMI」を提供した研究者になるまで」
講演者:鳥居邦夫氏(株式会社鳥居食情報調節研究所代表)
- 第2回(2014年2月26日) テーマ:「オリンピックを控えたインフラ~東京が直面する課題~」
講演者:中村英夫先生(東京都市大学前学長)
- 第3回(2014年3月20日) テーマ:「超伝導でノーベル賞をもらった人たち」
講演者:クリスチャン・フォスハイム先生



毎回約50名の聴講者が参加し熱のこもった質疑が交わられています

学校法人五島育英会は、2014(平成26)年5月20日に開催した理事会にて、2013(平成25)年度決算を決定しました。本法人では、学校法人会計基準に基づく計算書(資金収支計算書、消費収支計算書、貸借対照表等)をウェブサイトなどで公開しています。また、現金の動きを示した「キャッシュフロー計算書(C/F)」、消費収支計算書を損益計算書の形式に置き換えた「消費収支計算書(P/L)」を公表して、財務情報等の開示を積極的に行っています。

* 文中および各計算書に記載した金額は百万円未満等、表示単位未満を切り捨てています。そのため合計や増減などの項目で、計算と一致しない場合があります。

キャッシュフロー計算書 (C/F)

学校法人を構成する各学校等の教育活動、施設等整備活動、財務活動などに関する資金の動きを表す財務諸表です

①教育研究活動によるキャッシュフロー	30.5億円	前年比23.4%減
②施設等整備活動によるキャッシュフロー	△16.3億円	前年比6.5%増
③財務活動によるキャッシュフロー	9.9億円	前年比32.7%減
④キャッシュフロー計 ①+②+③	24.0億円	前年比38.7%減

* △は、出金が入金より多いことを示しています。

消費収支計算書 (P/L)

学校法人会計の消費収支計算書をもとに経常収支と特別収支に分けて計算しています。企業会計の損益計算書に相当します

①経常収入	184.7億円	前年比3.4%減
②経常支出	171.9億円	前年比0.4%増
③経常収支差額 ①-②	12.8億円	前年比35.9%減
④特別収入	25.9億円	前年比717.5%増
⑤特別支出	0.7億円	前年比68.3%減
⑥特別収支差額 ④-⑤	25.1億円	前年比3,081.0%増

貸借対照表 (B/S)

土地・建物などの資産、借入金などの負債、および純資産の状態を明らかにします

資産		負債・純資産	
有形固定資産	649.9億円 前年比3.1%増	長期・短期借入金	53.2億円 前年比16.9%増
各種引当特定資産	298.6億円 前年比3.2%増	他の負債	102.4億円 前年比3.2%減
その他	119.3億円 前年比12.7%増	純資産	912.2億円 前年比4.4%増
資産合計	1,067.9億円 前年比4.1%増	負債・純資産合計	1,067.9億円 前年比4.1%増

* 純資産とは、基本金の部と消費収支差額の部の合計です。

教育研究活動によるキャッシュフロー

収入が185億3200万円、支出が154億8200万円となり、教育研究活動によるキャッシュフローは30億5000万円となりました。

財務活動によるキャッシュフロー

東京都市大学世田谷キャンパス新1号館および塩尻高校新校舎建設のため新規に12億円の借入を行い、過年度の借入金を4億3100万円返済したことなどにより、9億9500万円のキャッシュインとなりました。

経常支出

退職給与引当金繰入額が減少しましたが、退職給与引当金繰入額を除く人件費、教育研究経費、管理経費が増加したため前年度に比べて7000万円増加し、171億9300万円となりました。

特別支出

資産処分差額の減少等により前年度に比べて1億6200万円減少の7500万円となりました。

有形固定資産

有形固定資産は土地、建物の取得により前年度に比べて19億8000万円増加の649億9200万円となりました。

各種引当特定資産

各種引当特定資産の内訳は、長期有価証券23億4900万円、退職給与引当特定資産48億8500万円、施設拡充引当特定資産194億9700万円、奨学資金引当特定資産6000万円、施設計画(2号)引当特定資産11億7200万円、第3号基本金引当特定資産18億1900万円、奨学資金引当特定資産4000万円、寄付積立特定資産3600万円となります。

施設等整備活動によるキャッシュフロー

土地の売買、東京都市大学世田谷キャンパス新1号館建設(2期工事)、塩尻高校新校舎建設など施設等の整備を行い、16億3700万円のキャッシュアウトとなりました。

経常収入

学生生徒等納付金、補助金、手数料などの収入を計上しています。自動車学校による事業収入が増加しましたが、学生生徒数の減少に伴う学生生徒等納付金の減少、補助金の減少等により、前年度に比べて6億5000万円減少し、184億7000万円となりました。

特別収入

資産売却差額、資産運用収入などの収入を計上しています。土地の売却などにより23億1800万円の売却差額が発生したため、前年度より大きく増加しました。

長期・短期借入金

借入金の合計は長期・短期の合計で53億2000万円となりました。過年度の借入金を4億3100万円返済しておりますが、東京都市大学世田谷キャンパス新1号館建設および塩尻高校新校舎建設が私学事業団の耐震改築長期低利融資の貸付対象となり、あらたに12億円を借り入れたことにより7億6800万円増加しました。

純資産

純資産比率(純資産/資産総額)は、85.4%となります。昨年度より0.2ポイント増加しました。

キャッシュフロー計算書(C/F)

「教育研究活動によるキャッシュフロー」は30億5000万円の収入超過となりました。前年度決算と比較すると、収入では補助金収入、学生生徒等納付金収入などが減少し、教育研究経費支出、管理経費支出などが増加しました。一方では、事業収入、退職金団体交付金収入が増加し、退職金支出が減少したことなどにより、収入超過額が9億3300万円減少しております。

「施設等整備活動によるキャッシュフロー」は土地売却などにより25億1000万円の収入がありましたが、東京都市大学世田谷キャンパス新1号館建設(2期工事)をはじめ、41億4800万円の施設設備の整備

を行った結果、16億3700万円のキャッシュアウトとなりました。

これらを合計した「事業活動によるキャッシュフロー」では、14億1200万円のキャッシュインとなりました。

「財務活動によるキャッシュフロー」では、東京都市大学世田谷キャンパス新1号館および塩尻高校新校舎建設のため12億円の借入を行いました。資産運用収入は2億7500万円を計上し、支出は過年度借入の利息、返済により4億8100万円となった結果、9億9500万円のキャッシュインとなりました。

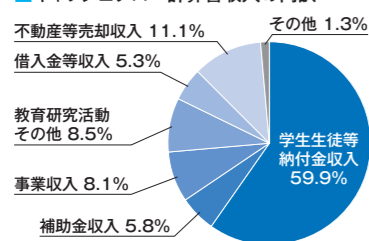
事業活動と財務活動を合計したキャッシュフロー計は24億700万円のキャッシュインとなりました。

2013(平成25)年度 キャッシュフロー計算書(C/F)

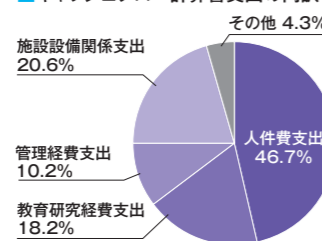
(単位:百万円)

科目	当年度決算	前年度決算	差異
事業活動によるキャッシュフロー			
i 教育研究活動によるキャッシュフロー			
学生生徒等納付金収入	13,496	13,542	△45
手数料収入	600	614	△13
寄付金収入	88	88	0
補助金収入	1,308	2,166	△857
事業収入	1,814	1,657	156
退職金団体交付金収入	360	328	31
その他	862	1,089	△227
小計(A)	18,532	19,487	△955
人件費支出(退職金支出を除く)	8,692	8,667	24
退職金支出	677	688	△10
教育研究経費支出	3,660	3,542	117
管理経費支出	2,059	1,995	63
その他	392	609	△216
小計(B)	15,482	15,503	△21
(A-B)	3,050	3,983	△933
ii 施設等整備活動によるキャッシュフロー			
施設設備関係補助金収入	17	7	9
不動産等売却収入	2,493	66	2,426
小計(C)	2,510	74	2,435
施設関係支出	3,793	1,089	2,704
設備関係支出	510	458	52
その他	△155	63	△219
小計(D)	4,148	1,611	2,536
(C-D)	△1,637	△1,537	△100
I 事業活動によるキャッシュフロー(i+ii)	1,412	2,446	△1,034
財務活動によるキャッシュフロー			
資産運用収入	275	249	26
借入金等収入	1,200	2,000	△799
小計(E)	1,476	2,249	△773
借入金等利息支出	49	60	△11
借入金等返済支出	431	711	△279
小計(F)	481	771	△290
II 財務活動によるキャッシュフロー(E-F)	995	1,477	△482
キャッシュフロー計(I+II)	2,407	3,924	△1,517

キャッシュフロー計算書収入の内訳



キャッシュフロー計算書支出の内訳



キャッシュフロー計算書とは

キャッシュフロー計算書は、会計年度内に遂行した資金の動き(キャッシュフロー)を表した財務諸表です。教育研究、施設整備、財務などに区分してキャッシュフローを計算し、それぞれの収入と支出から健全な学校経営がなされているかを確認します。

企業会計においては、2000年3月期からキャッシュフロー計算書の作成が義務付けられており、国立大学法人会計基準、公益法人会計基準においてもこれになっています。

事業活動によるキャッシュフロー

「教育研究活動によるキャッシュフロー」は、各学校の教育研究活動と収益部門による営業活動を含めた金額で構成しており、収入超過が通常の状態です。

「施設等整備活動によるキャッシュフロー」は、校舎の建設や機器・備品を購入するための資金の動きを表現しており、支出超過が通常の状態になります。

教育研究活動と施設等整備活動によるキャッシュフローの合計が「事業活動によるキャッシュフロー」となります。

財務活動によるキャッシュフロー

「財務活動によるキャッシュフロー」は、資金を調達、返済するための活動、すなわち資産運用や借入金に関する活動を表しています。

2013(平成25)年度 消費収支計算書(P/L)

(単位:百万円)

科目	当年度決算	前年度決算	差異
経常収支の部			
学生生徒等納付金	13,496	13,542	△45
手数料	600	614	△13
寄付金	168	153	15
補助金	1,325	2,173	△847
資産運用収入	551	476	75
事業収入	1,814	1,657	156
雑収入(退職金団体交付金を除く)	160	182	△21
退職金団体交付金	360	328	31
経常収入(A)	18,479	19,130	△650
人件費(退職給与引当金繰入額を除く)	8,692	8,667	24
退職給与引当金繰入額	534	597	△63
教育研究経費(減価償却額)	5,551	5,475	76
管理経費	2,415	2,381	33
(減価償却額)	(356)	(384)	△28
経常支出(B)	17,193	17,122	70
I 経常収支差額(A-B)	1,286	2,007	△720
特別収支の部			
資産運用収入	275	249	26
資産売却差額	2,318	68	2,250
特別収入(C)	2,594	317	2,277
借入金等利息	49	60	△11
資産処分差額他	25	177	△151
特別支出(D)	75	238	△162
II 特別収支差額(C-D)	2,518	79	2,439
III 帰属収支差額(I+II)	3,805	2,086	1,718
基本金組入額(E)	△2,201	△1,058	△1,143
消費収支差額(III+E)	1,604	1,028	575
基本金取崩額	550	2	547

貸借対照表(B/S)

資産は、土地及び建物の取得、流動資産の増加により42億3500万円増加し106億7920万円となりました。負債は借入金等4億3000万円増加し155億7000万円となりました。基本金・消費収支差額合計は、38億500万円増加し912億2100万円となりました。

2013(平成25)年度 貸借対照表(B/S)

(単位:百万円)

科目	本年度末残高	前年度末残高	増減	科目	本年度末残高	前年度末残高	増減
資産の部				負債・基本金および消費収支差額の部			
固定資産	98,192	95,306	2,885	固定負債	11,426	10,751	675
有形固定資産	64,992	63,012	1,980	長期借入金	4,949	4,120	829
土地	27,790	26,017	1,772	退職給与引当金	5,033	5,242	△209
建物	29,038	28,270	768	長期預り金	421	356	65
構築物	2,070	2,022	47	その他	1,021	1,031	△10
機器備品等	3,204	3,394	△189	流動負債	4,143	4,388	△245
図書	2,484	2,448	36	短期借入金	371	431	△60
建設仮勘定	403	858	△454	未払金	479	433	46
その他の固定資産	33,199	32,294	905	前受金	2,743	2,947	△203
借地権	1,457	1,457	0	預り金他	549	577	△27
施設利用権等	620	621	0	負債の部合計	15,570	15,140	430
収益事業元入金等	1,261	1,270	△8	基本金	94,234	92,583	1,651
各種引当特定資産	29,860	28,946	914	第1号基本金	90,022	88,377	1,644
流動資産	8,600	7,249	1,350	第2号基本金	1,172	1,172	0
現金預金	6,121	5,772	349	第3号基本金	1,819	1,812	6
未収入金	503	502	0	第4号基本金	1,221	1,221	0
有価証券	1,902	800	1,101	消費収支差額の部	△3,012	△5,166	2,154
その他	72	174	△101	(純資産)	91,221	87,416	3,805
資産の部合計	106,792	102,556	4,235	負債・基本金および消費収支差額の部合計	106,792	102,556	4,235

消費収支計算書(P/L)

【経常収支の部】

経常収入では、学生生徒等納付金は134億9600万円となりました。学生生徒数が12,063人となり、納付金収入は4500万円の減少となりました。手数料は6億円となりました。志願者数は22,747人となり、445人減少したことにより1300万円の減少となりました。寄付金は1億6800万円となり1500万円増加となりました。補助金は13億2500万円となり8億4700万円減少しました。資産運用収入は5億5100万円となり、7500万円増加となりました。五島育英会ビル賃貸料収入の増加が主な要因となります。事業収入は18億1400万円となり、1億5600万円増加しました。東急自動車学校の教習料収入の増加が主な要因となります。退職金社財団からの交付金は3億6000万円、その他の雑収入は1億6000万円となりました。

一方経常支出は、退職給与引当金繰入額を除く人件費は86億9200万円となり2400万円増加しました。専任教職員数は793人、兼務教員数は446人となっております(2013年5月1日現在)。教育研究経費は55億5100万円となり7600万円増加しました。修繕費、減価償却額などが減少しましたが、東京都市大学世田谷キャンパス旧1号館の取り壊しによる除却費が増加しております。管理経費は24億1500万円となり3300万円増加しております。委託費が増加、広告費が減少しております。

【特別収支の部】

資産運用収入は2億7500万円となり2600万円増加しました。資産売却差額は23億1800万円となりました。これは土地売却等によります。借入金等利息は4900万円となりました。借入金の返済が一部終了したため、1100万円減少しております。資産処分差額の2500万円は、主に機器備品、図書等を除却したことによります。

以上によりまして、帰属収支差額は38億500万円の収入超過となり、17億1800万円増加いたしました。基本金組入額は22億100万円となり、11億4300万円増加しました。

帰属収支差額から基本金組入額を差し引いた消費収支差額は16億400万円の収入超過の決算となりました。

キャッシュフロー計算書(C/F) (単位:百万円)

科目	2009(平成21)年度	2010(平成22)年度	2011(平成23)年度	2012(平成24)年度	2013(平成25)年度
事業活動によるキャッシュフロー					
i 教育研究活動によるキャッシュフロー					
学生生徒等納付金収入	11,741	12,518	13,076	13,542	13,496
手数料収入	555	539	540	614	600
寄付金収入	36	62	95	88	88
補助金収入	2,361	2,476	2,304	2,166	1,308
事業収入	1,426	1,192	1,461	1,657	1,814
退職金団体交付金収入	546	360	367	328	360
その他	3,049	1,657	948	1,089	862
小計(A)	19,717	18,807	18,793	19,487	18,532
人件費支出(退職金支出を除く)	8,541	8,399	8,576	8,667	8,692
退職金支出	1,032	590	763	688	677
教育研究経費支出	3,694	3,666	3,734	3,542	3,660
管理経費支出	2,813	2,240	2,110	1,995	2,059
その他	18	351	152	609	392
小計(B)	16,100	15,249	15,338	15,503	15,482
(A-B)	3,616	3,557	3,455	3,983	3,050
ii 施設等整備活動によるキャッシュフロー					
施設設備関係補助金収入	109	55	11	7	17
不動産等売却収入	2,531	2,121	3,568	66	2,493
小計(C)	2,640	2,176	3,579	74	2,510
施設関係支出	3,848	4,676	2,461	1,089	3,793
設備関係支出	1,049	773	431	458	510
その他	1,013	△71	49	63	△155
小計(D)	5,910	5,379	2,943	1,611	4,148
(C-D)	△3,270	△3,202	636	△1,537	1,637
I 事業活動によるキャッシュフロー(I+ii)	346	355	4,092	2,446	1,412
財務活動によるキャッシュフロー					
資産運用収入	219	202	225	249	275
借入金等収入	0	0	0	2,000	1,200
その他	17	0	0	0	0
小計(E)	236	202	225	2,249	1,476
借入金等利息支出	99	86	73	60	49
借入金等返済支出	732	715	715	711	431
小計(F)	832	801	788	771	481
II 財務活動によるキャッシュフロー(E-F)	△595	△599	△563	1,477	995
キャッシュフロー計(I+II)	△249	△244	3,529	3,924	2,407

消費収支計算書(P/L) (単位:百万円)

科目	2009(平成21)年度	2010(平成22)年度	2011(平成23)年度	2012(平成24)年度	2013(平成25)年度
経常収支の部					
学生生徒等納付金	11,741	12,518	13,076	13,542	13,496
手数料	555	539	540	614	600
寄付金	100	154	169	153	168
補助金	2,470	2,531	2,316	2,173	1,325
資産運用収入	595	619	538	476	551
事業収入	1,426	1,192	1,461	1,657	1,814
雑収入(退職金団体交付金を除く)	2,866	178	196	182	160
退職金団体交付金	546	360	367	328	360
経常収入(A)	20,301	18,095	18,666	19,130	18,479
人件費(退職給与引当金繰入額を除く)	8,541	8,399	8,576	8,667	8,692
退職給与引当金繰入額	936	676	537	597	534
教育研究経費	5,470	5,588	5,738	5,475	5,551
(減価償却額)	(1,773)	(1,920)	(2,003)	(1,930)	(1,885)
管理経費	2,979	2,605	2,509	2,381	2,415
(減価償却額)	(164)	(364)	(387)	(384)	(356)
経常支出(B)	17,928	17,269	17,362	17,122	17,193
I 経常収支差額(A-B)	2,372	825	1,304	2,007	1,286
特別収支の部					
資産運用収入	219	201	224	249	275
資産売却差額	2,533	2,104	3,537	68	2,318
特別収入(C)	2,752	2,306	3,761	317	2,594
借入金等利息	99	86	73	60	49
資産処分差額他	271	281	534	177	25
特別支出(D)	371	367	607	238	75
II 特別収支差額(C-D)	2,381	1,938	3,153	79	2,518
III 帰属収支差額(I+II)	4,754	2,763	4,458	2,086	3,805
基本金組入額(E)	△2,877	△4,869	△2,751	△1,058	△2,201
消費収支差額(III+E)	1,877	△2,105	1,706	1,028	1,604
基本金取崩額	0	0	1,352	2	550

2014(平成26)年3月31日現在の財産の目録です (単位:円)

財産目録 2014(平成26)年3月31日

I 資産総額	金	106,792,580,825
内 1 基本財産	金	65,096,903,878
2 運用財産	金	36,311,822,654
[3 収益事業用財産	金	5,383,854,293]
II 負債総額	金	15,570,763,667
III 正味財産*	金	91,221,817,158

(注記) 資産の価額は取得価額(減価償却資産については帳簿価額)基準による

* 正味財産とは、資産総額から負債総額を差し引いた金額です。

1. 資産

1. 基本財産 (単位:円)

区分	数量	価額・金額
(1) 土地	316,644.68㎡	27,341,239,659
(2) 建物	171,359.43㎡	26,997,959,790
(3) 構築物	-	1,231,154,928
(4) 教具・校具および備品	56,463点	3,096,283,959
(5) 図書	565,640冊	2,484,082,573
(6) 車輛	15台	20,825,432
(7) 建設仮勘定	1口	403,893,000
(8) 借地権	16,426.86㎡	318,785,680
(9) 電話加入権	184台	10,675,915
(10) 施設利用権	21件	5,052,640
(11) ソフトウェア	83口	134,912,767
(12) 施設取得計画(2号)引当資産	1口	1,172,000,000
(13) 第3号基本金引当資産	3口	1,819,080,748
(14) 奨学資金引当特定資産	2口	60,956,787
計	-	65,096,903,878

2. 運用財産 (単位:円)

区分	数量	価額・金額
(1) 預金・現金	-	5,652,144,930
(2) 退職給与引当特定資産	5口	4,885,500,000
(3) 施設拡充引当特定資産	10口	19,497,000,000
(4) 奨学資金引当特定資産	1口	40,000,000
(5) 寄付積立特定資産	2口	36,750,175
(6) 有価証券	1口	2,349,626,896
(7) 不動産	107,647.20㎡	448,905,857
(8) 収益事業元入金	1口	1,000,000,000
(9) 長期貸付金	8口	3,621,400
(10) 短期貸付金	1口	360,000
(11) 未収入金	80口	442,228,619
(12) 貯蔵品	-	445,898
(13) 前払金	48口	34,934,044
(14) 立替金	6口	1,121,070
(15) 仮払金	5口	17,000,560
(16) 短期有価証券	1口	1,902,183,205
計	-	36,311,822,654

3. 収益事業用財産 (単位:円)

区分	数量	価額・金額
(1) 事業用建物	7,705.03㎡	2,040,888,263
(2) 事業用構築物	-	839,483,458
(3) 事業用動産(機器・備品他)	252点	87,849,594
(4) 借地権	163.86㎡	1,138,236,000
(5) 施設利用権	11件	602,590,254
(6) 修繕積立金	1口	121,736,917
(7) 長期前払費用	2件	1,506,260
(8) 設備利用権	8件	1,864,864
(9) 預金・現金	-	469,457,563
(10) 未収入金	15口	61,435,391
(11) 貯蔵品	-	1,498,962
(12) 前払金	38口	9,689,483
(13) 立替金	1口	7,617,284
計	-	5,383,854,293

2. 負債

1. 固定負債 (単位:円)

区分	数量	価額・金額
(1) 長期借入金	11口	4,949,860,000
(2) 退職給与引当金	548人	4,699,430,312
(3) 長期未払金	1口	2,669,100
計	-	9,651,959,412

2. 流動負債 (単位:円)

区分	数量	価額・金額
(1) 短期借入金	9口	371,120,000
(2) 前受金	13口	2,471,692,896
(3) 未払金	17口	400,398,719
(4) 預り金	30口	518,683,717
計	-	3,761,895,332

3. 収益事業用負債 (単位:円)

区分	数量	価額・金額
(1) 退職給与引当金	74人	334,193,300
(2) 長期預り金	15口	421,993,588
(3) 長期未払金	3口	18,782,400
(4) 収益事業元入金	1口	1,000,000,000
(5) 未払金	2口	79,304,674
(6) 前受金	6口	271,721,642
(7) 預り金	5口	6,484,319
(8) 未払費用	1口	24,429,000
計	-	2,156,908,923

借用財産

区分	数量	備考
(1) 土地	86,861.43㎡	東京都大学校地他
(2) 建物	0.00㎡	(該当なし)
計	-	-

* 27~30ページの数値データは、2014年5月1日現在のものです。

■ 東京都大学グループ各学校の在学学生生徒数

(単位:人)

区分	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度
東京都大学	3,096	3,114	3,117	3,071
工学部				
知識工学部	1,176	1,196	1,242	1,238
環境情報学部	1,975	1,962	1,470	984
環境学部			261	427
メディア情報学部			250	450
都市生活学部	551	708	725	705
人間科学部	314	425	438	438
(大学院)				
工学研究科	668	646	592	550
環境情報学研究科	66	60	55	41
付属高等学校	696	699	703	706
付属中学校	745	776	786	795
等々力高等学校	637	704	478	515
等々力中学校	376	458	462	474
塩尻高等学校	811	811	799	793
付属小学校	475	474	475	477
二子幼稚園	202	208	210	209
合計	11,788	12,241	12,063	11,873

■ 東京都大学グループ各学校の志願者数

(単位:人)

区分	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度
東京都大学	15,370	16,282	18,818	18,520
その他	9,346	10,136	11,021	10,199
合計	24,716	26,418	29,839	28,719

■ 五島育英会の教職員数

(単位:人)

区分	教員		専任職員
	専任	非常勤	
法人本部	0	0	39
東京都大学	269	315	178
東京都大学付属中学校・高等学校	72	44	6
東京都大学等々力中学校・高等学校	55	34	7
東京都大学塩尻高等学校	45	17	7
東京都大学付属小学校	18	11	5
東京都大学二子幼稚園	12	1	1
東急自動車学校	0	27	70
合計	471	449	313

■ 東京都大学グループ各学校の校地・校舎の規模

(単位:m)

	東京都大学			
	工学部・知識工学部 ^{*1}	環境情報学部・環境学部・メディア情報学部	都市生活学部・人間科学部	合計 ^{*2}
校地面積	151,616.87	64,687.96	11,531.00	227,835.83
校舎面積	79,806.51	21,403.71	14,326.18	115,536.40

(単位:m)

	付属中学校・高等学校	等々力中学校・高等学校 ^{*3}	塩尻高等学校	付属小学校	二子幼稚園	全体合計
校地面積	19,455.00	37,992.00	38,796.00	7,588.00	1,881.00	333,547.83
校舎面積	16,618.54	15,520.57	11,181.82	5,978.51	1,168.35	166,004.19

^{*1} 世田谷キャンパスおよび原子力研究所・総合研究所の計 ^{*2} 校舎面積に渋谷サテライトクラス(197.62m)は含めない ^{*3} 総合グラウンド(校地)26,901.00m、(校舎)950.87mを含む

■ 東京都大学グループ各学校の図書館蔵書数

^{*1}(単位:冊) ^{*2}(単位:点)

	都市大グループ総数	東京都大学			付属中学校・高等学校	等々力中学校・高等学校	塩尻高等学校	付属小学校	二子幼稚園
		世田谷キャンパス	横浜キャンパス	等々力キャンパス					
和書 ^{*1}	536,898	190,660	100,110	157,636	35,923	24,441	12,165	13,213	2,750
洋書 ^{*1}	119,348	79,503	17,699	21,035	24	1,087	0	0	0
小計	656,246	270,163	117,809	178,671	35,947	25,528	12,165	13,213	2,750
雑誌種類数 ^{*2}	2,895	2,171	389	217	79	31	0	8	0
視聴覚資料数 ^{*2}	9,794	3,712	4,474	516	411	324	357	0	0
総合計	668,935	276,046	122,672	179,404	36,437	25,883	12,522	13,221	2,750

■ 東京都大学 競争的研究資金および研究助成(2013年度)

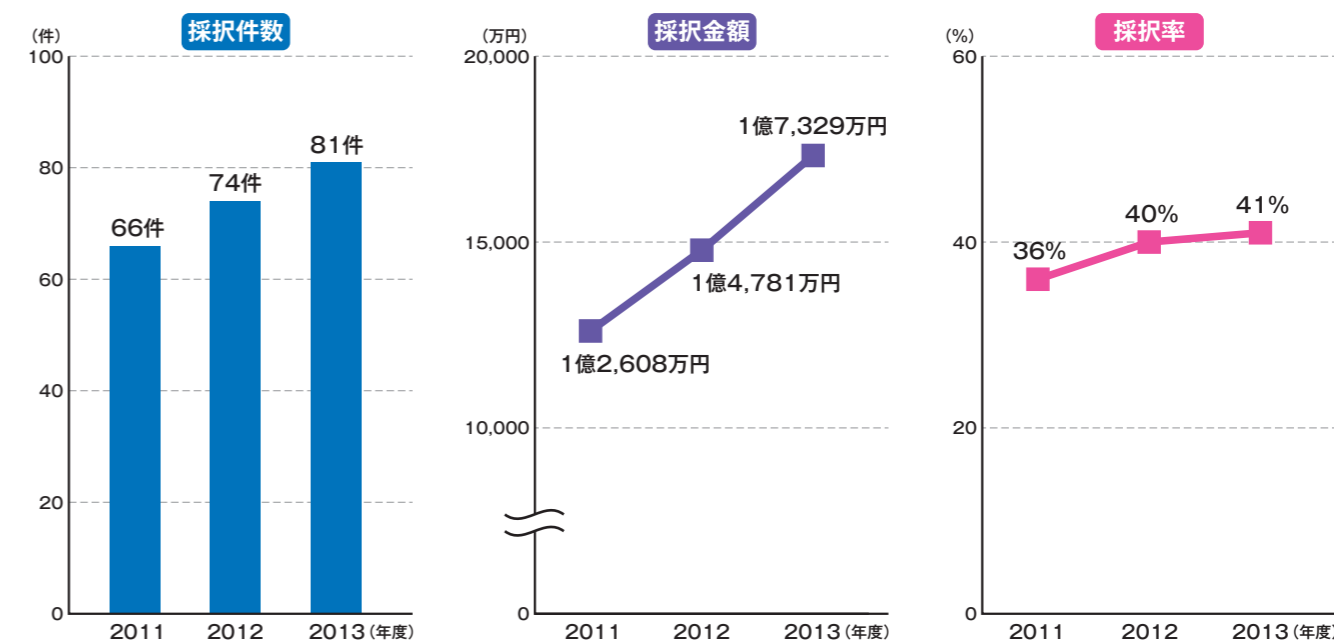
(単位:千円)

事業名・助成金名など	担当官庁ほか	所属	氏名	受入額
最先端・次世代研究開発支援プログラム	内閣府	環境学部環境マネジメント学科	伊坪徳宏	47,320
最先端研究開発支援プログラム(再委託)	内閣府	知識工学部情報通信工学科	堀田正生	33,000
高性能汎用計算機高度利用事業	文科省	工学部機械システム工学科	郡 逸平	1,500
原子力基礎基盤研究委託事業	文科省	工学部原子力安全工学科	村松 健	33,942
建設技術研究開発費補助金	国交省	工学部建築学科	西村 功	8,190
建設技術研究開発費補助金	国交省	工学部都市工学科	白旗弘実	25,740
環境研究総合推進費(再委託)	環境省	環境学部環境マネジメント学科	野田昭宏	5,350
戦略的情報通信研究開発推進制度(SCOPE)	総務省	総合研究所	丸泉琢也	16,368
戦略的情報通信研究開発推進制度(SCOPE)	総務省	総合研究所	松井敏明	6,110
科学研究費補助金(分担者)	厚労省	人間科学部児童学科	近藤雅雄	200
省水型・環境調和型水循環プロジェクト/水循環要素技術研究開発(再委託)	NEDO	工学部都市工学科	長岡 裕	31,575
先導的産業技術創出事業費助成金	NEDO	工学部エネルギー化学科	金澤昭彦	10,894
研究成果最適展開支援事業(A-STEP)	JST	工学部機械工学科	亀山雄高	3,732
研究成果展開事業(再委託)	JST	工学部原子力安全工学科	持木幸一	2,600
科学技術試験研究委託事業(再委託)	JST	工学部原子力安全工学科	持木幸一	14,138
科学技術試験研究委託事業(再委託)	JST	工学部原子力安全工学科	持木幸一	1,600
戦略的創造研究推進事業	JST	工学部建築学科	大橋好光	5,804
二国間交流事業 共同研究・セミナー	日本学術振興会	工学部機械システム工学科	三宅弘晃	1,000
草の根技術協力事業(草の根協力支援型)	JICA横浜国際センター	環境学部環境創生学科	史 中超	7,071

国際交流助成課題(公益財団法人大澤科学技術振興財団)	工学部機械工学科	亀山雄高	200
岩谷科学技術研究助成(公益財団法人岩谷直治記念財団)	工学部機械工学科	藤間卓也	2,000
科学技術研究助成(公益財団法人スズキ財団)	工学部機械工学科	横 徹雄	1,000
研究助成事業(一般社団法人日本アルミニウム協会)	工学部機械工学科	亀山雄高	800
研究助成(公益財団法人中谷医工計測技術振興財団)	工学部医用工学科	仁木清美	2,490
研究助成(公益財団法人池谷科学技術振興財団)	工学部エネルギー化学科	江場宏美	1,000
共同研究(北海道大学 人獣共通感染症リサーチセンター)	工学部エネルギー化学科	宗像文男	500
JICE研究開発助成(財団法人国土技術研究センター)	工学部都市工学科	吉川弘道	1,850

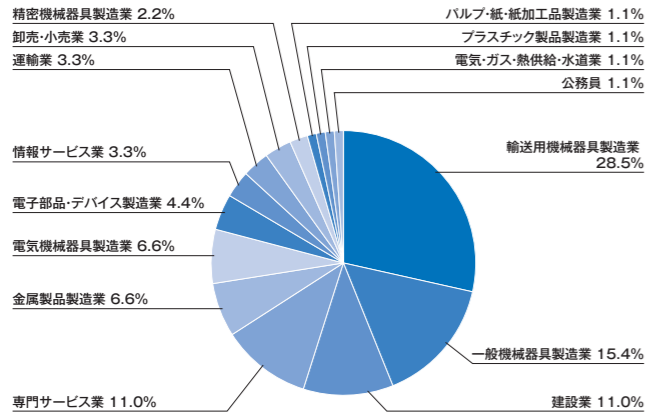
文部科学省科学研究費助成事業(科研費)・研究種目	件数	受入額
新学術領域研究	1	17,420
基盤研究(A)	1	15,470
基盤研究(B)	7	38,350
基盤研究(C)	56	82,290
挑戦的萌芽研究	7	8,320
若手研究(B)	8	10,010
研究活動スタート支援	1	1,430
	81	173,290

■ 文部科学省科学研究費補助金(科研費)の推移

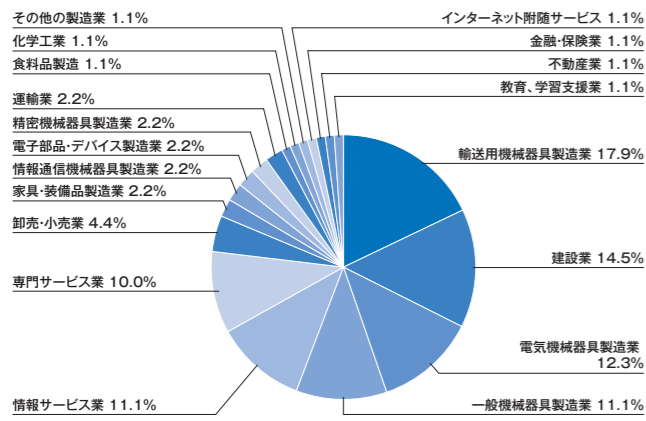


工学部・大学院工学研究科

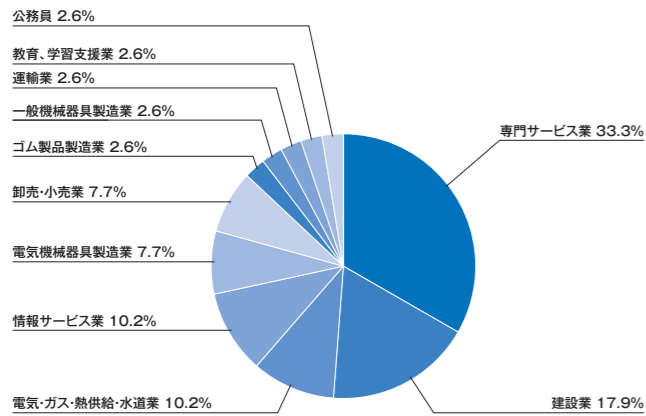
■機械工学科および機械工学専攻(就職者91名)



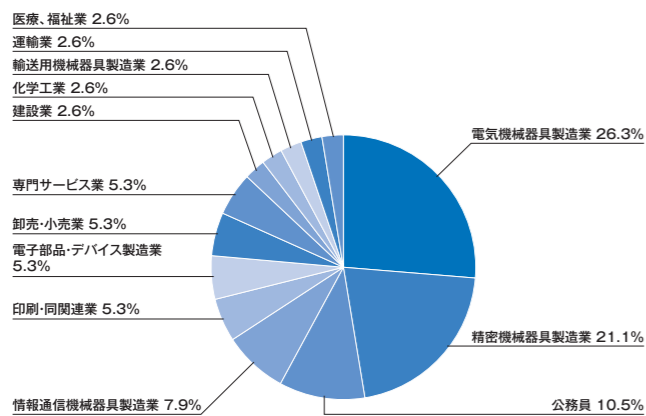
■機械システム工学科および機械システム工学専攻(就職者90名)



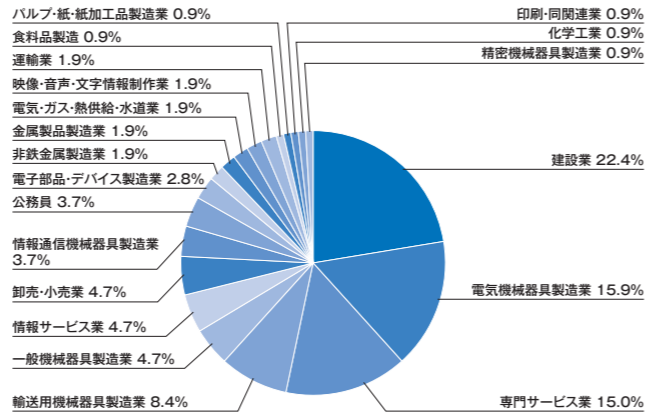
■原子力安全工学科および共同原子力専攻(就職者39名)



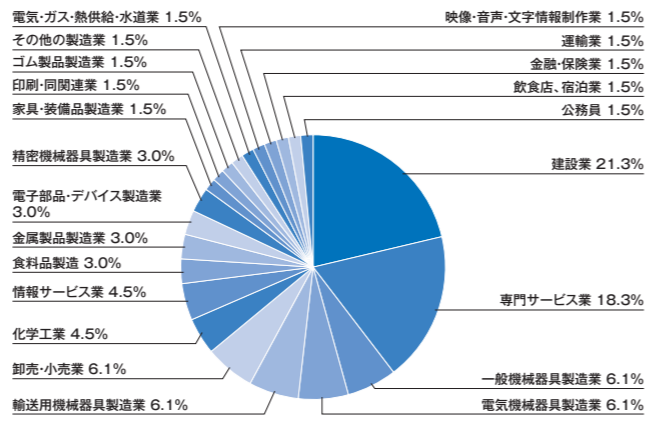
■生体医工学科および生体工学専攻(就職者38名)



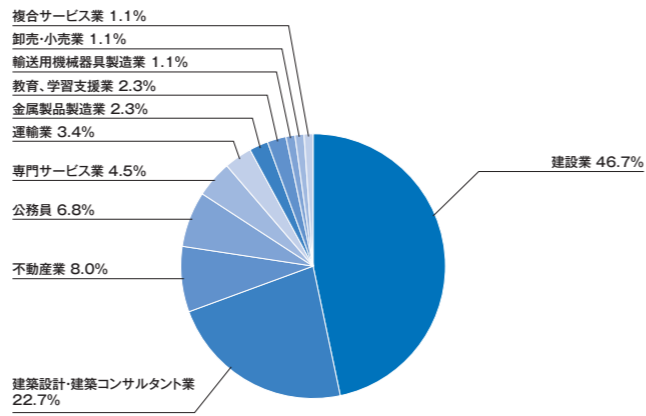
■電気電子工学科および電気電子工学専攻(就職者108名)



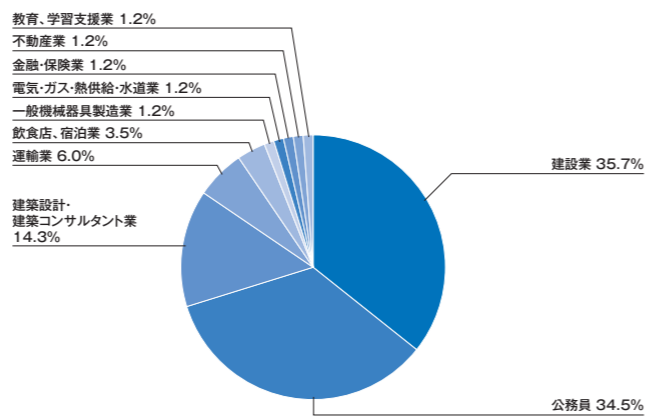
■エネルギー化学科およびエネルギー化学専攻(就職者67名)



■建築学科および建築学専攻(就職者95名)

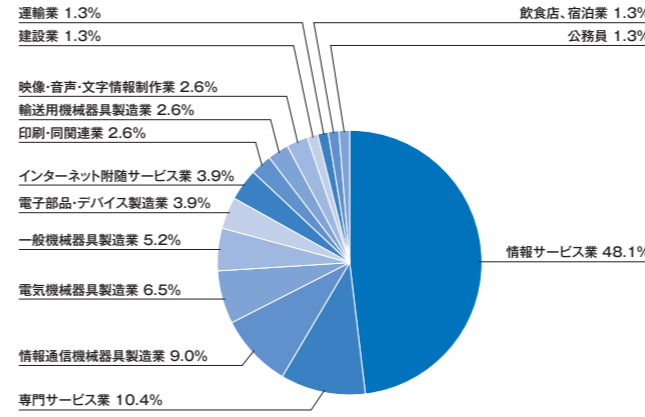


■都市工学科および都市工学専攻(就職者85名)

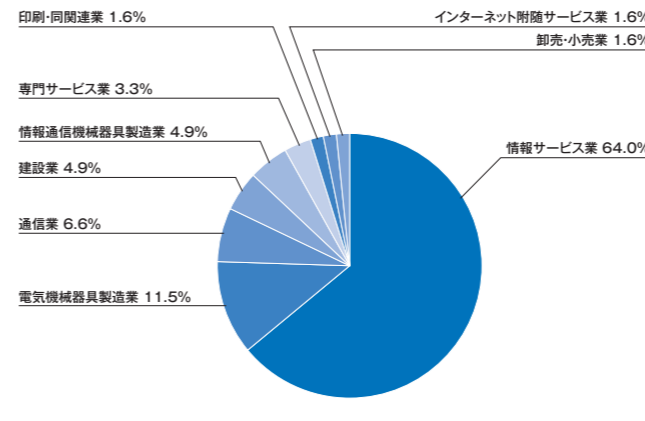


知識工学部・大学院工学研究科

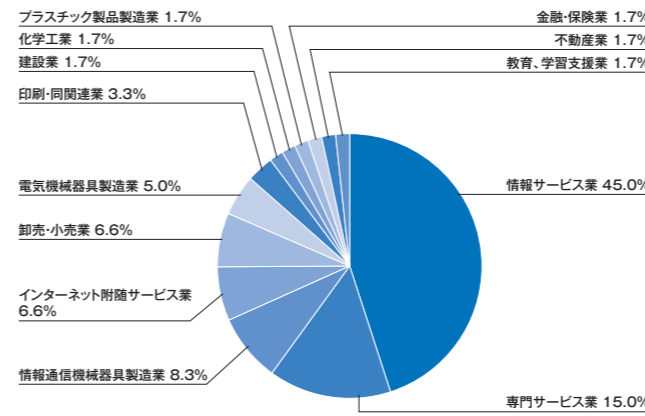
■情報科学科および情報工学・システム情報工学専攻(就職者80名)



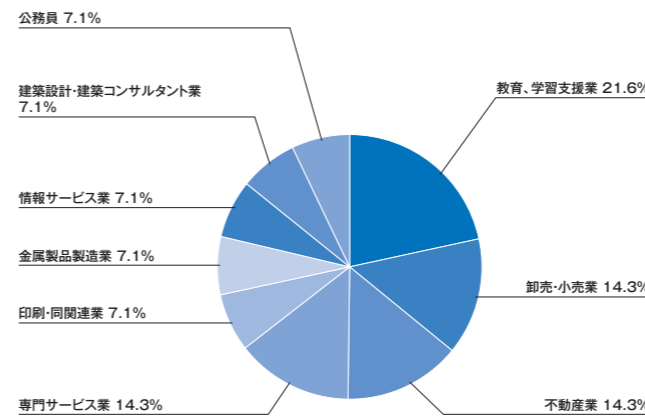
■情報ネットワーク工学科および情報工学・システム情報工学専攻(就職者62名)



■経営システム工学科および情報工学・システム情報工学専攻(就職者65名)

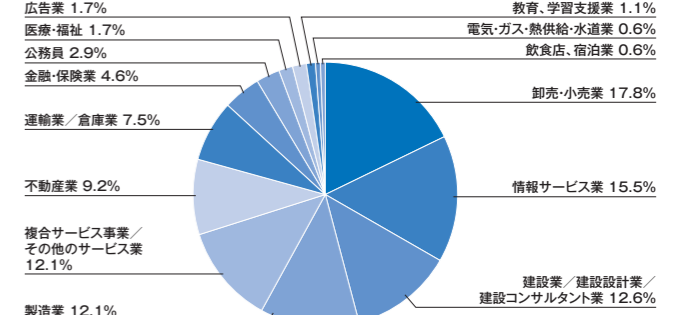


■自然科学科(就職者16名)

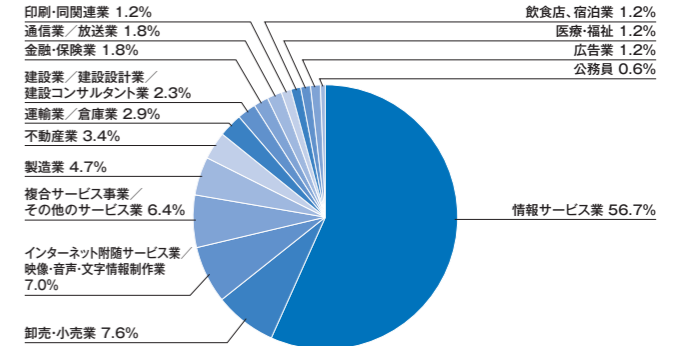


環境情報学部・大学院環境情報学研究科

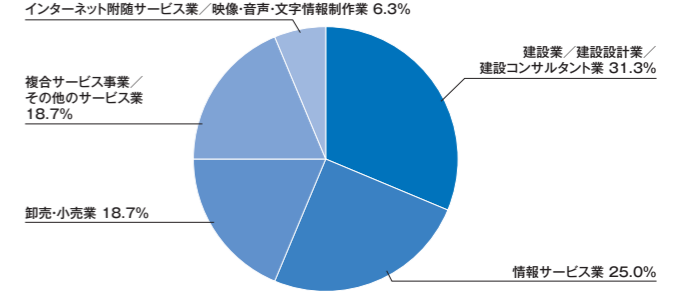
■環境情報学科(就職者184名)



■情報メディア学科(就職者179名)

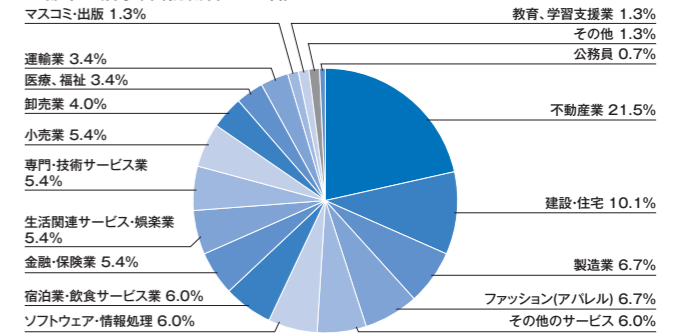


■環境情報学専攻(就職者16名)



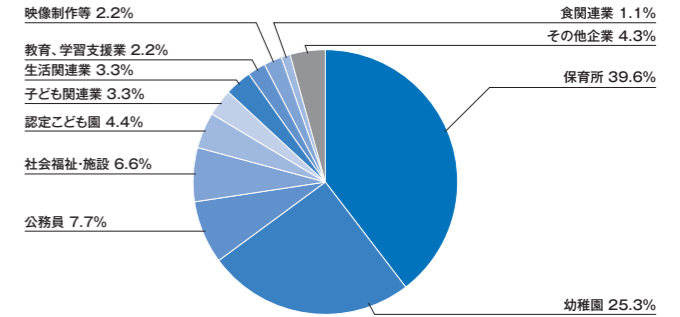
都市生活学部

■都市生活学科(就職者160名)



人間科学部

■児童学科(就職者91名)



2014年度の事業計画

学校法人五島育英会は、教育環境の整備、教育内容の充実と経営基盤の安定に取り組み、理念に基づく有為な人材を育成すべく、2014年度事業計画を策定しました。

都市大グループの中核である東京都市大学は、大学を取り巻く昨今の厳しい状況に対応するため、長期的な視点で計画的に改革を推進していく必要があることから、2013年度に、中長期計画「アクションプラン2030」を策定しました。

2014年度は、本計画に基づき推進体制を整備し、スピード感を持って取り組んでまいります。具体的には、①教育の質保証、②キャンパス教育環境向上、③ブランド力向上、④大学運営向上の4つのプロジェクトを設定、それぞれのプロジェクトごとに重点施策を設定し、事業を行ってまいります。

東京都市大学附属中学校および東京都市大学等々力中学校では、2014年度入試より、帰国生入試を導入し、想定以上の志願状況となりました。初年度の志願傾向および入学後の生徒の状況などを把握し、一般入試を含め募集方法などを改善・強化してまいります。

東京都市大学塩尻高等学校では、再編した新たな普通科が2014年4月からスタートしました。生徒一人ひとりの個性を伸ばし、実力を引き出す独自の学習システムを導入し、これまで以上に高い学力を養成、キャリア教育の充実を図り、生徒の希望に応える多様な進路の実現を図ります。

また、高大連携をはじめとする学校間連携および付属進学制度を2014年度も引き続き実施し、都市大グループの結束と総合力の強化および発展向上を図るとともに、初等中等学校全体の教員を対象とした職階ごとの研修会を実施し、資質向上および教育の質的向上に引き続き注力いたします。

なお、グローバル化への対応についても都市大グループ全体の課題と捉え、引き続き組織的・継続的に推進してまいります。

【人事】

2014年度の都市大グループの職員配置は、教育職471名(対前年2名増)、技術職92名(対前年増減なし)、事務職233名(対前年1名増)の体制となります。

事務職員においては、現在、都市大グループ全体の取り組みとして「職員力」の向上を目指し、さらに研修プログラムの内容を充実させるとともに自己啓発支援の拡充を行い、個々の職員の意識改革を喚起し、グローバル化に対応する人材育成に取り組めます。高等学校以下の教育職員に対しては、魅力ある学校づくりを推進するため、高いレベルでの教育スキルの維持・向上に努めていますが、さらに教員研修制度の内容を充実させ、個々の教員の授業力・指導力の向上に取り組めます。

【広報】

都市大グループ全体並びに各学校の認知向上および理解をさらに深めるための広報活動を継続して行います。特に、都市大のブランド力向上を目標の中核に据え、活動していきます。

(1) 広報戦略

①都市大グループの理念に基づき、ブランド形成を強力に推進するために、全体および各学校の個性化・特色化を促進し、認知と共感を高めるための活動を積極的に行います。

②教育活動、研究活動、産学連携、地域連携などの成果や取り組みを

積極的に広報します。

③グループの中核である東京都市大学のブランド力向上に資する活動を積極的に行います。

(2) 内部広報

①グループ理念、ビジョンを共有する意識を醸成する内部広報活動に継続して取り組みます。

②創立者の功績を広く周知する活動を積極的に行うことにより、帰属意識、愛校心を涵養します。

【財務】

経常収入は、昨年度予算より0.7%増額を見込んでいます。一方、経常支出は3%の消費税増額などを含めて計上しました。教育環境の整備充実を図り、施設などの投資を行うことにより、基本金組入後の消費収支差額は22億4100万円の支出超過となる予算です。

【内部監査】

2014年度内部監査計画に基づき、監事、会計監査人との連携を強化し、会計監査、業務監査を実施します。

【収益事業】

(1) 不動産賃貸

五島育英会ビル

空室が解消し満室稼働となりましたが、賃料改定により増収を図り、今後とも競争力の強化を計画的に進めてまいります。

(2) 東急自動車学校

送迎バスルートを見直し増収を図るとともに、業務効率化を一層高めるなど、経常収支の黒字の恒常化に取り組んでいきます。

【施設等設備計画】

主な施設・設備計画については下記の通りです。

東京都市大学塩尻高等学校新校舎の建設および既存校舎の改修

塩尻高等学校では、普通科コース再編に伴う学校改革の一環として、特色ある設備を備えた新校舎の建設および既存校舎の改修を実施しています。

新校舎の竣工は2014年8月、改修を含めた事業完了は2015年3月を予定しています。

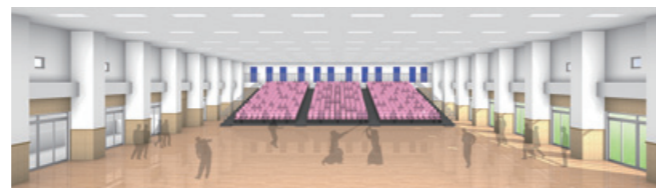
建物の概要:鉄筋コンクリート造・一部鉄骨造

延床面積 12,188.47㎡

・新校舎 <新築>(地上4階) 3,282.90㎡

・新体育館棟 <新築>(地上2層) 3,124.00㎡

・本館、実験実習棟 <改修>(地上3階) 5,781.57㎡



塩尻高等学校 多目的ホール
新体育館には、長野県内の高校では最大級規模の移動観覧席(360席)を擁する1,060名収容の多目的ホール(講堂兼体育施設)を配置します



塩尻高等学校 中庭から見た新校舎
普通科コース制への再編に伴い、多様化する教育環境に対応し、特色ある設備を備えた新校舎を新築して施設環境を整備しています



塩尻高等学校 新校舎・新体育館予定図
新校舎と既存校舎は渡り廊下でつながり、中庭を中心とした回遊型校舎配置を構成します

各種奨学制度

五島育英会では、本法人における各種奨学制度と、ご父母保証人、卒業生、企業などの皆様のご理解とご協力による各種寄付を活用し、学生・生徒の学びと成長を支援しています。

【奨学金制度】

奨学金名	2013年度採用実績	奨学金名	2013年度採用実績
五島育英基金	174件	五島育英会曾称奨学基金	1件
武蔵育励基金	30件	山田奨学基金	16件
蔵田奨学基金	1件	今泉奨学基金	6件
東京都市大学黒澤敦・淑子奨学金	12件	東京都市大学佐野利秋国際交流奨学金	4件
桐華奨学基金	4件	峰奨学基金	1件
小島奨学基金	12件		

※本多奨学基金は五島育英基金へ統合しました

奨学金の概要は五島育英会ホームページをご覧ください
<http://www.goto-ikuei.ac.jp/10hojin/scholarship.html>

【その他の支援制度】

五島育英会では、現在のような経済状況が不安定な中にあっても、学生・生徒の皆様が学修の機会を失わず、希望を持って未来に挑戦できるよう応援してまいります。詳しくは、都市大グループ各学校までお問い合わせください。

・小学生から大学院生までの家計急変に対する在學生への緊急支援

・地震等災害における学費等減免

その他、改修工事などは、以下を予定しています。

- (1) 東京都市大学世田谷キャンパス14号館1階学生食堂床面補修工事
- (2) 東京都市大学世田谷キャンパス10号館・11号館研究室改修工事
- (3) 東京都市大学世田谷キャンパス空調設備更新工事
- (4) 東京都市大学世田谷キャンパス11号館外壁塗装工事
- (5) 東京都市大学世田谷キャンパス内水路付替に伴う外構整備
- (6) 東京都市大学横浜キャンパス空調設備更新工事
- (7) 東京都市大学横浜キャンパス排水ポンプ更新工事
- (8) 東京都市大学等々力キャンパス空調設備更新工事
- (9) 東京都市大学原子力研究所水道管更新工事
- (10) ハヶ岳山荘老朽化設備(浴槽、ボイラー、体育館屋根など)の更新および無線LAN整備



五島育英会では、学業・人物ともに優秀な学生・生徒を支援するために、様々な奨学金制度を整えています

【教育ローンについて】

五島育英会では、金融機関との提携による「学校法人五島育英会教育ローン」制度を設置しております。本制度は銀行や信販会社など指定金融機関から学納金の融資を受けられるもので、経済的理由により学が困難な学生・生徒・児童に対して、経済的負担を軽減することを目的としています。

ご支援のお願い

五島育英会では、都市大グループ各学校の教育・研究活動のさらなる充実のために、皆様のご芳志を活用しています。本法人の取り組みをご理解いただき、引き続きご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。なお、五島育英会は文部科学大臣より特定公益増進法人および税額控除対象法人の証明を受けており、五島育英会に対する寄付金は税制上の優遇措置を受けることができます。また、一部の自治体では、個人住民税の税額控除の対象となります。詳しくはホームページをご覧ください。(http://www.goto-ikuei.ac.jp/10hojin/30support/)

【お問い合わせ先】

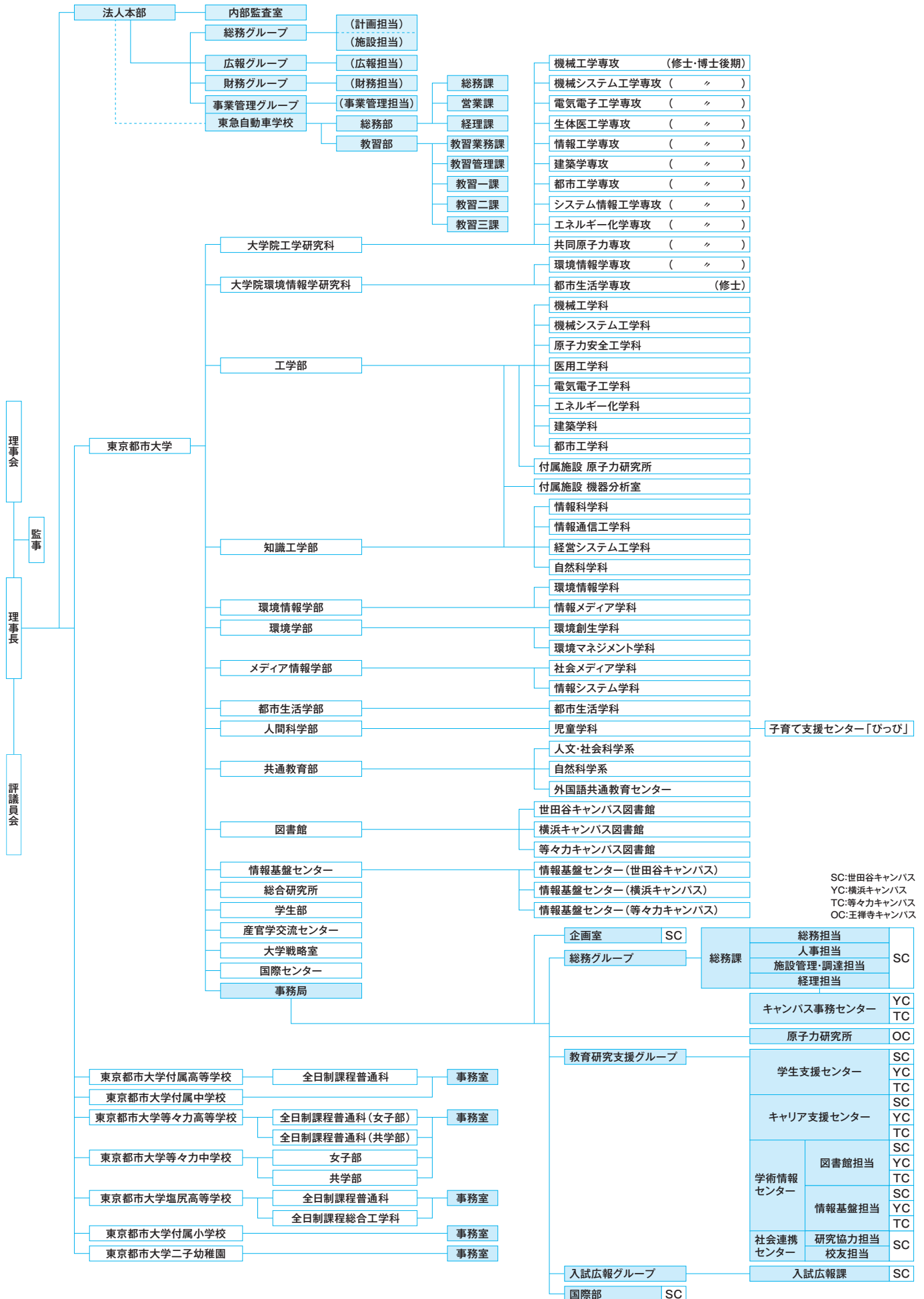
学校法人五島育英会 法人本部 財務グループ
〒150-0043 東京都渋谷区道玄坂1-10-7 五島育英会ビル8F TEL:03-3464-6919(ダイヤルイン) FAX:03-3464-6650

組織図

(2014年5月1日現在)

□ 教学組織

■ 事務組織



SC:世田谷キャンパス
 YC:横浜キャンパス
 TC:等々力キャンパス
 OC:王禅寺キャンパス

子育て支援センター「びっぴ」

企画室	SC	総務課	総務担当	
総務グループ		総務課	人事担当	SC
		総務課	施設管理・調達担当	
		総務課	経理担当	
		キャンパス事務センター		YC TC
		原子力研究所		OC
		学生支援センター		SC YC TC
		キャリア支援センター		SC YC TC
		学術情報センター	図書館担当	SC YC TC
			情報基盤担当	SC YC TC
		社会連携センター	研究協力担当 校友担当	SC
		入試広報グループ	入試広報課	SC
		国際部		SC

役員・評議員一覧

(2014年5月1日現在) 理事、監事、評議員の任期:2012年5月27日～2015年5月26日

■理事(14名)

安達 功	理事長
國分 榮	専務理事
広江 秀夫	常務理事
北澤 宏一	東京都市大学学長
山口 裕啓	学校法人五島育英会前理事長
越村 敏昭	東京急行電鉄株式会社取締役会長
上條 清文	学校法人亜細亜学園理事長 東京急行電鉄株式会社相談役
今村 俊夫	東京急行電鉄株式会社取締役副社長
片田 敏行	東京都市大学副学長 東京都市大学大学院工学研究科長
橋本 昌彦	東京都市大学事務局長
菅澤 正嗣	法人本部財務グループ担当理事
植木 正威	東急不動産ホールディングス株式会社取締役会長
松下 正勝	東京都市大学校友会会長
小林 菊恵	東京都市大学校友会副会長

■監事(3名)

岩田 哲夫	東京急行電鉄株式会社常勤監査役
吉田 創	東京急行電鉄株式会社常勤監査役
関 博	武蔵工業会元理事長

■評議員(30名)

北澤 宏一	東京都市大学学長
小野 正人	東京都市大学附属中学校・高等学校校長
原田 豊	東京都市大学等々力中学校・高等学校校長
赤羽 利文	東京都市大学塩尻高等学校校長
重永 睦夫	東京都市大学附属小学校校長 東京都市大学二子幼稚園園長
湯本 雅恵	東京都市大学工学部長
山本 尚生	東京都市大学知識工学部長
吉崎 真司	東京都市大学環境学部長 東京都市大学環境情報学部長
近藤 雅雄	東京都市大学人間科学部長
橋本 昌彦	東京都市大学事務局長
白石 明	東急自動車学校校長
鈴木 照海	副理事・法人本部総務グループ担当
小山 欽也	副理事・法人本部財務グループ財務担当部長
片岡 昭博	東京都市大学事務局国際部長
松下 正勝	東京都市大学校友会会長
吉田 勝	東京都市大学校友会副会長
松村 慶一	東京都市大学校友会世田谷キャンパス常任幹事
小林 菊恵	東京都市大学校友会副会長
川辺 加代子	東京都市大学校友会等々力キャンパス常任幹事

安達 功	理事長
山口 裕啓	学校法人五島育英会前理事長
越村 敏昭	東京急行電鉄株式会社取締役会長
上條 清文	学校法人亜細亜学園理事長 東京急行電鉄株式会社相談役
今村 俊夫	東京急行電鉄株式会社取締役副社長
植木 正威	東急不動産ホールディングス株式会社取締役会長
片田 敏行	東京都市大学副学長 東京都市大学大学院工学研究科長
國分 榮	専務理事
広江 秀夫	常務理事
曾禰 韶夫	
泉水 堯	学校法人亜細亜学園専務理事

東京都市大学と東急グループの連携

学校法人五島育英会は、教育事業を通じて東急グループの社会貢献事業の一翼を担うとともに、豊かな人間性と広い視野を持つ未来志向の人材を育成し、変化する社会の要請に応えております。

都市大グループの中核である都市大では、東急グループとの様々な連携プロジェクトを推進。2013年11月20日には世田谷キャンパスで、「海外インターンシップ」および「東急グループインターンシップ」に参加した学生による成果発表会も開催されました。「東急グループインターンシップ成果発表会」では、グループ企業19社64名の参加学生の中から、代表して建設、商業施設の運営、保育、広告、保安など7社での成果発表が行われました。様々な学びに取り組む学生が、それぞれに目的意識を持って就業体験に参加した様子について語りました。

また、都市大と同じ東急グループの一員である東急不動産グループは、都市・建築・環境分野の次世代技術に関する産学共同研究を推進しており、その活動の一環として、11月15日、等々力キャンパスにおいて「フラウンホーファー建築物理研究所」のダニエル・チルケルバツハ氏らを講師に招き、産学共同研究講演会を開催。参加した学生たちは第一線で活躍する研究者たちの講演に真剣に耳を傾けていました。



東急グループインターンシップ成果発表会の様子。熱心な質疑応答が交わされ7組の発表が終了



真剣に耳を傾ける聴講者ら(産学共同研究講演会)

東急グループについて



東急グループは本拠地である渋谷の再開発を進めています。2012年4月には渋谷駅周辺のリーディングプロジェクトである高層複合施設「渋谷ヒカリエ」が開業しました

東急グループは、1922年の「目黒蒲田電鉄株式会社」設立に始まり、2014年3月末現在、東京急行電鉄を中核企業とした220社8法人で構成する企業グループです。交通事業を基盤とした「街づくり」を事業の根幹に置き、不動産、生活サービス、ホテル・リゾート、ビジネスサポートなど、長年にわたって、皆さまの日々の生活に密着した様々な分野で事業を進めています。

「美しい時代へ」をスローガンに、人々

の多様な価値観に対応した「美しい生活環境の創造」をグループ理念として掲げ、各社の「自立」を前提に、互いに連携しあい、相乗効果を生み出す「共創」を推進し、信頼され愛される東急ブランドの確立を目指しています。

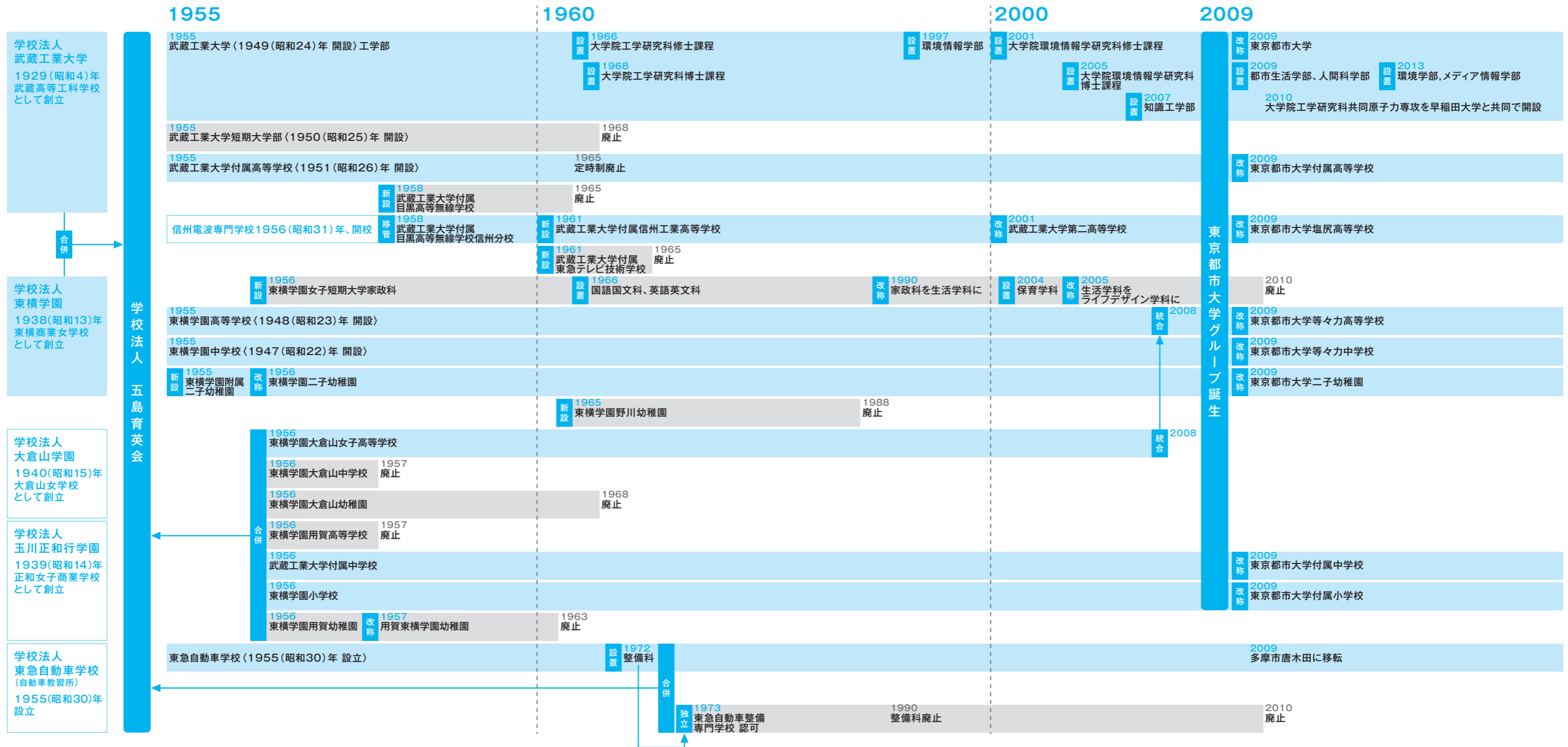
また、学校法人・財団の活動、全国で展開している東急会の活動などを通して、地域社会に根ざした社会貢献活動にも積極的に取り組んでいます。

学校法人五島育英会の概要

学校法人五島育英会のあゆみ

本法人は、東急グループの創設者である五島慶太初代理事長が、1938年、「女子の実践的教育普及」を目的に設立した東横商業女学校に端を発します。その後、学校法人東横学園設立(1951年)を経て、1955年6月に、学校法人武蔵工業大学と学校法人東横学園が統合して学校法人五島育英会となりました。当時の設置校は、武蔵工業大学、同短期大学部、同付属高等学校、東横学園高等学校、同中学校の5校でした。

以来、幾多の変遷を経て、2009年4月、設置する大学1校、高等学校3校、中学校2校、小学校1校、幼稚園1園に「東京都市大学」の名称を冠し、「東京都市大学グループ」を形成しました。



写真で見る東京都市大学 3キャンパスの変遷



事業活動

東急自動車学校(東急ドライビングスクール)

二子玉川から移転してきた2009年は、年間の合計入校者数が4,000名弱でしたが、2013年度は6,421名と大幅に増えています。前年度と比較すると357名の増加。都内にある47校の中でも、第3位の実績です。特に入校者が増えたのは大型車で、前年より158人多くなり、増減比率も16.2%上がりました。本校の案内を配布する場所やポスティング範囲を拡大した効果が出ています。また、卒業生による紹介者が入校者の約15%にあたる847名いました。多くの卒業生が本校の教習内容に満足し、友人や知人に紹介してくれています。

入校者数が増えてきていることと、2012年度から技能教習の時間を延長したことから指導員を増やし、事務員と合わせて現在111名が勤務しています。これからも各種講習に参加するなど、指導員の教習技術をさらに向上させるための取り組みを行っていきます。

普通自動車については、入校生の約半数が近隣在住または近隣の大学に通う大学生です。そうした背景を踏まえ、2013年度は近隣大学24校の学園祭に企業協賛しました。各大学ではアンケートを実施し、1,706人の回答がありました。こうした学園祭の協賛やアンケートを通じて、本校の認知率アップを図っています。

70歳を超えて免許を更新する際に必要な「高齢者講習」を受けにくる人が年々増えています。2013年度は5,289名で、前年度よりも1,041名増加しています。そのため、昨年度は1日に受講できる人数を18名から27名にしました。今後も高齢化社会に対応すべく、より多くの方が受講できる環境を整えていきます。

受講生の利便性を向上させるため、2013年8月から無料スクールバスを7ルートから8ルートに増設しました。ルートについては、2014年度も統廃合と新設を考えています。

自動車学校は免許を取るための施設であると同時に地域の交通安全センターでもあります。2013年度も様々な地域貢献活動に取り組みました。多摩中央署主催自転車安全教室では、本校の自転車シミュレーターを利用しました。また、多摩中央署と南大沢署の二輪安全運転講習会や二輪競技大会では会場として二輪コースを提供。昨年7月に多摩地区で開催された国体では、スポーツ祭東京2013東京国体多摩市実行委員会に協賛しました。

産学連携にも力を入れました。都市大が行っている東日本大震災被災地ボランティア「TAKE ACTION」の参加者を世田谷キャンパスから現地まで送迎するバスの運転手として指導員を派遣しました。さらに、中・高校生を対象とした電気自動車コンテスト「都市大エコ1チャレンジカップ2013」の会場に本校のコースを使用しました。これからも都市大グループとの産学連携に取り組んでいきます。



2009年12月から多摩市唐木田で開業している東急自動車学校



■ホームページ

<http://www.109n.jp>

東急自動車学校
所在地:東京都多摩市唐木田3-6
TEL:042-372-0109



五島育英会ビル

五島育英会ビルは、東急東横線・田園都市線やJR線などが集まる渋谷駅から徒歩約5分という立地性に加えて都市型オフィスビルとしての快適性を備えています。

同ビル内には、東京都市大学と早稲田大学との共同大学院の教育・研究開発の拠点となる「東京都市大学 渋谷サテライトクラス」が設置されています。

【建物概要】

建物名称:五島育英会ビル
敷地面積:1,001.79㎡
構造:鉄骨鉄筋コンクリート造
地下3階地上8階塔屋1階
建物面積:899.27㎡
建物延面積:8,777.88㎡

賃貸オフィスに関するお問い合わせは、五島育英会 事業管理グループ (TEL:03-3464-6954)までお願いいたします。



五島育英会野川ビル

東急田園都市線沿線の閑静な住宅街にたたずむ地上5階建ての一括賃貸物件です。公園などが多い地域に立地し、周辺は2系統のバス路線が乗り入れるなど、快適性と利便性を備え、収益事業の一翼を担っています。

所在地:神奈川県川崎市宮前区野川3024-2
最寄駅:東急田園都市線「鷺沼」駅
建物構造:鉄筋コンクリート造、地上5階建



東京都市大学 世田谷キャンパスに 先進の環境配慮型 複合施設〈新1号館〉竣工

教育研究のさらなる充実を図るため、キャンパスの再整備事業を推進しています。その一環として、2014年1月、新1号館が竣工しました。この新1号館は、学生支援センター、キャリア支援センター、研究室、事務管理部門などに加え、大中小の教室49室を擁する複合施設です。延べ床面積約15,000㎡、地下1階、地上4階建てとなるこの建物は、太陽光発電、自然通風システム、氷蓄熱を利用した空調設備、屋上や壁面緑化など、環境に配慮した様々なシステムが導入されています。

また、4階には学生、教職員のほか、OB・OG、保護者の方々など多くの人に利用いただけるラウンジ「オーク」を開設。広々とした空間を、カフェ風のテーブル席とソファが並ぶホテルのようなゆったりと落ち着いたあるインテリアで、レセプションや発表会、パーティー会場としても利用できます。

新1号館の特長

- 1 学生の満足度向上のため、安全で快適な学習環境や生活環境と、充実したサポートサービスをもった複合施設
- 2 明解なゾーニングにより、効率的な運営が可能な施設
- 3 自然エネルギーを積極的に活用し省エネルギー化をはかり、長寿命でサステナブルな環境配慮型建築



新1号館の北側



新1号館に開設したラウンジ「オーク」



あなたのスマートフォンに、 東京都市大学グループのアイコンを!

～スマートフォンアプリが完成、無料配布中～

都市大グループでは、皆様とのインターネット上でのコミュニケーションを促進するために、各種公式ソーシャルメディア (Facebook、Twitter、YouTube) を開設してきましたが、新たな展開として、スマートフォン用アプリケーション (iPhone版およびAndroid版) 「東京都市大学」を作成。現在、App StoreおよびGoogle Playを通じて、無料配布中です。

このアプリでは、グループ概要や学園歌、大学から幼稚園までの各学校の基本情報や写真、新着ニュースなどを紹介するとともに、ホームページやソーシャルメディアへのアクセスを容易にしました。ぜひこの機会にダウンロードしていただき、都市大グループをより身近なものにしませんか?

ダウンロード方法 iPhone版はApp Storeから、Android版はGoogle Playから、ダウンロード(無料)できます。「東京都市大学」と検索し、「東京都市大学」のアイコンが表示されたら、アイコンをタップしてください。インストールが開始されます。

都市大グループ
最新情報を配信中!



充実する都市大グループの ソーシャルメディア

都市大グループの研究・教育、課外活動、イベントなどの最新情報を各種ソーシャルメディアで発信しています。

「いいね」でGOODコミュニケーション!

都市大グループ公式Facebook
<https://www.facebook.com/TCUgroup>

動画で情報配信中

都市大グループ公式YouTube
<http://www.youtube.com/user/gotoikuei>

「つぶやき」をフォローしよう!

都市大グループ公式Twitter
<https://twitter.com/toshidaigroup>

ブログで日々の出来事を伝えます!

都市大グループ公式Blog
<http://www.goto-ikuei.ac.jp/blog/>

Access Map

東京都市大学

SC：世田谷キャンパス

東急大井町線 尾山台駅より徒歩12分

YC：横浜キャンパス

横浜市営地下鉄（ブルーライン）中川駅より徒歩5分

TC：等々力キャンパス

東急大井町線 等々力駅より徒歩10分

J：東京都市大学 附属中学校・高等学校

小田急線 成城学園前駅より徒歩10分

T：東京都市大学 等々力中学校・高等学校

東急大井町線 等々力駅より徒歩10分

S：東京都市大学 塩尻高等学校

中央本線 塩尻駅より徒歩15分

E：東京都市大学 附属小学校

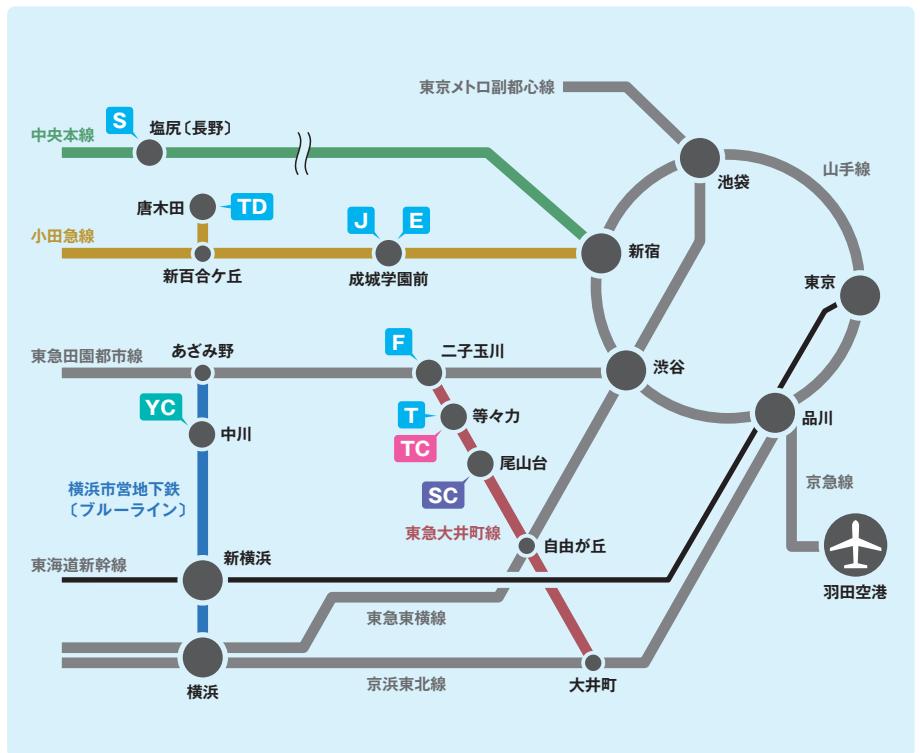
小田急線 成城学園前駅より徒歩10分

F：東京都市大学 二子幼稚園

東急大井町線・田園都市線 二子玉川駅より徒歩5分

TD：東急自動車学校

小田急線 唐木田駅より徒歩15分



2013年度事業報告書 学校法人五島育英会

発行日：2014年7月

発行者：学校法人五島育英会

本報告書の対象範囲：学校法人五島育英会の大学、高等学校、中学校、小学校、幼稚園、自動車学校

本報告書の対象期間：2013年4月1日～2014年3月31日

（一部、上記期間以前または以後の状況についても記載しています）

無断転載を禁止します。

All Rights Reserved.

Printed in Japan © Gotoh Educational Corporation 2014

〒150-0043 東京都渋谷区道玄坂1-10-7 五島育英会ビル8F

TEL:03-3464-6911(代表) FAX:03-3464-6650 URL <http://www.gotoh-ikuei.ac.jp>

詳しくはホームページへ

都市大グループ

検索

本誌に関するお問い合わせは、五島育英会 法人本部 広報グループ(TEL:03-3464-6916)までお願いいたします。